

協同のあゆみ

第29回通常総代会

とき 令和6年6月22日(土) 午前10時30分
ところ 豊岡市民会館 文化ホール

総代会当日は、この資料をお持ちくださいますようお願いいたします。



「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」世界農業遺産認定



たじまピーマン新選果施設稼働



ふれあい祭り



たじまんま JALフェア



小学校食農等応援事業



産地交流会 つちかおり米田植え体験



コウノトリ育むお米販促活動 沖縄餅つき体験



リレーション+ (プラス) 創刊



JAたじま公式キャラクター
もぎゆ太



たじまに生きる たじまを活かす

JAたじまは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

第29回 通常総代会次第

- と き 令和6年6月22日(土)
午前10時30分
- ところ 豊岡市民会館 文化ホール

1. 開会のことば
2. 組合長あいさつ
3. 表 彰
4. 総代会成立宣言
5. 議長団選任

議長	
----	--

6. 書記指名

書記	
----	--

7. 議 事
8. 閉会のことば

目 次

組合員の皆さまへ	1
第29回通常総代会議案	2～3
総代会に対する理事の提出書	4
令和5年度事業報告	5～31
I. 組合の事業活動の概況に関する事項	6～18
1. 主な事業活動の内容	6～15
2. 月別活動結果	16～17
3. 当事業年度における重要事項	17
4. 財務・事業成績の推移	18
5. 単体自己資本比率	18
6. 対処すべき重要な課題	18
II. 組合の運営組織の状況に関する事項	19～30
1. 総代会の開催状況	19
2. 組合員数および出資口数	19
3. 役員の状況	20
4. 会計監査人の状況	21
5. 役職員の状況	21
6. 組織の構成	21
7. 主な組合員等組織	22～25
8. 施設の設置状況	26～29
9. 共済事業の委託組織の状況	29
10. 子会社の状況	30
III. 令和5年度事業報告の附属明細書	31
報告事項1	32～37
貸借対照表	32
損益計算書	33
I. 令和5年度貸借対照表等の附属明細書	34～37
剰余金処分案	38
監査報告書	39～42
部門別損益計算書	43
事業別の明細	44～48
令和6年度事業計画書	49～65
I. 基本方針	50
II. 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み	50
III. 事業方針および事業実施計画	51～62
IV. 財務計画	63
V. 損益計画	64
VI. 事業管理費および固定資産投資計画	65
議案関係資料	66～69
報告事項2	70～72
第10期総代名簿	73～75
JAたじま機構図	76～77

注記表については、法令および定款第39条第5項の規定に基づき、当組合のホームページ (<https://www.ja-tajima.or.jp/>) に掲載しています。

組合員の 皆さまへ



代表理事組合長

太田垣 哲男

組合員の皆さまには、日頃よりJAたじまの事業に格別のご理解を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年度は、4月に全国でも初めての取り組みとして、日本航空(株)、(株)農協観光とパートナーシップ協定を締結し、日本各地の方々を但馬に呼び込んで地域や地域農業の活性化につながる取り組みを行う「JJエリアセンター但馬」をJA本店内に設置しました。既に農業体験を含めた旅行企画や、収穫作業などの労働力支援の企画を実施し、但馬外の方に多数ご参加いただきました。

また、7月には美方郡の但馬牛の飼育システムが世界農業遺産に認定されるなど、但馬地域が注目されるニュースもございました。但馬の魅力を発信しながら、このような交流人口を増やす取り組みが但馬を盛り上げる一助となるよう、これからも継続的に取り組んでまいります。

営農事業では、夏場の高温に苦しむこととなり、米の作況や特産品の生育にも悪い影響がありました。そのような中でも、生産者皆さまにおかれましては、品質や収量の確保に向けて多くの努力を重ねていただき、JAとしましても、営農相談や施設運営、販売面で最大限の努力をいたしました。米については集荷数量や1等米比率は厳しい結果となりましたが、ピーマンや朝倉さんしょは販売高で前年を上回る実績をあげることができました。本当にありがとうございました。

その他の事業と合わせまして、令和5年度事業報告を上程しておりますので宜しくお願いいたします。

迎えました令和6年度は、中期計画 Plan2024・経営改善計画の総仕上げの年であるとともに、次期中期計画の策定年度でもあります。

肥料原料価格の高止まりが続くことが見込まれる中、多様な担い手が農業経営を継続していくことができるよう、営農事業全般においてJAの役割をしっかりと果たしてまいります。

また、景気動向が不透明な中、信用事業を通じた資産形成のご提案を積極的に行うとともに、頻発する自然災害に備えるため、建物更生共済など有事の際の安心につながる共済仕組みの普及にも取り組みます。

組合員やJAを取り巻くあらゆる環境の変化が予測されますが、スローガン「たじまに生きるたじまを活かす」のもと、営農振興と但馬の活性化に向けて、役職員一同、精一杯頑張りますので、組合員の皆さまのご理解と一層のご協力・参画をお願いいたします。

○ 第29回通常総代会議案

第1号議案 令和5年度事業報告および剰余金処分案の承認について

令和5年度事業報告および剰余金処分案の承認を求める。

なお、令和5年度事業報告は5ページ～31ページ、剰余金処分案は38ページに記載のとおり。

第2号議案 令和6年度事業計画の設定について

令和6年度事業計画設定の承認を求める。

なお、令和6年度事業計画は49ページ～65ページに記載のとおり。

第3号議案 定款の変更について

刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年法律第56号）により定款の所要の変更を行う。

なお、変更の内容は66ページ～67ページに記載のとおり。

第4号議案 定款附属書総代選挙規程の変更について

刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）、総代選挙における総代の住所掲示の簡素化に伴い、定款附属書総代選挙規程の所要の変更を行う。

なお、変更の内容は68ページ～69ページに記載のとおり。

第5号議案 令和6年度理事および監事の報酬について

理事および監事の報酬については、昨年度の支給実績、事業実績および経済情勢の変化等諸般の情勢を考慮し、次のとおりとする。

1. 理事報酬（理事27名）

総額9,000万円以内とし、各理事に対する支給額および支給方法等細部については、理事会に一任する。

2. 監事報酬（監事6名、うち員外監事1名）

総額1,700万円以内とし、各監事に対する支給額および支給方法等細部については、監事の協議に一任する。

第6号議案 附帯決議

1. この総代会において決議した事項のうち、法令およびその他行政庁の指示により修正を必要とするときは、決議の主旨に反しない範囲において、その修正について理事会に一任する。
2. 年度の中途において、事業計画に係る軽微な事項について一部の変更を必要とするときは、その変更について理事会に一任する。

報告事項1 令和5年度貸借対照表、損益計算書および注記表ならびに附属明細書について

32 ページ～ 37 ページに記載のとおり。

※ 注記表については、法令および定款第 39 条第 5 項に基づき、当組合のホームページ (<https://www.ja-tajima.or.jp/>) に掲載しています。

報告事項2 JAたじまの自己改革の取り組み状況(協同活動ハイライト)について

70 ページ～ 72 ページに記載のとおり。

○ 総代会に対する理事の提出書

第29回通常総代会を開催するにあたり、第1号議案から第6号議案までを別記のとおり総代会に提出します。

令和6年6月22日

たじま農業協同組合

代表理事組合長	太田垣 哲 男	代表理事専務	山 下 正 明
常務理事	西 谷 浩 喜	常務理事	仙 賀 秀 和
常務理事	田 原 良 次	理 事	小 川 勇
理 事	西 沢 泰 裕	理 事	花 光 亮
理 事	福 本 明 美	理 事	加 藤 勉
理 事	霜 倉 和 典	理 事	西 田 清
理 事	久 田 恵美子	理 事	小 林 好
理 事	須 川 多華子	理 事	竹 中 敦
理 事	谷 口 修	理 事	森 脇 薫 明
理 事	上 垣 美由紀	理 事	小 川 宏 昭
理 事	澤 見 弘 三	理 事	藤 林 敏 彦
理 事	大 槻 勝 久	理 事	梶 本 さつき
理 事	中 尾 盛 雄	理 事	濱 利 樹
理 事	植 田 博 成		

○ 令和5年度事業報告

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

1. 令和5年度 主な事業活動の内容

営農事業の活動結果

お米の振興

- ①消費者から求められる米づくりの実践と、環境創造型農業のさらなる推進のため、契約栽培米の作付拡大に取り組みました。
- ②7月下旬から8月中旬の登熟期の高温と少雨により兵庫県北部の作況が96となり、米の集荷実績は前年より減少し、1等米比率も低下しましたが、食味評価を得て、日本穀物検定協会の食味ランキングで、県北コシヒカリが2年ぶりに特A評価となりました。
 令和5年産米集荷実績 314,539袋（前年対比：88.5%）
 令和5年産コシヒカリ1等米比率 24.1%（前年実績：24.9%）
- ③但馬の米づくりへの理解を深めるため、取引先の社員、消費者と生産部会との産地交流会（田植え・生きもの調査・稲刈り）の開催や、取引先イベントへの参加など、生産者・実需者・消費者相互の交流を行いました。
- ④「ふるさと但馬米食味コンテスト」「多収穫米選手権 2023」を実施し、成績優秀な生産者を表彰しました。
- ⑤豊岡市学校給食で使用するお米の全量無農薬栽培米への転換に向けて、コウノトリ育むお米（つきあかり無農薬栽培）28.4tを供給しました。
- ⑥養父市学校給食へ、特別栽培米となった蛇紋岩米の供給を開始しました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み実績

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年対比
契約栽培米比率	83.9%	86.0%	+2.1ポイント
J A 集荷量	355,012袋	314,539袋	88.5%
コウノトリ育むお米(有機JAS・無農薬)集荷数量	14,187袋	15,111袋	106.5%



特別栽培蛇紋岩米を養父市学校給食に提供



朝倉さんしよ出荷

特産物の振興

- ① たじまピーマン収量増加に向けて栽培指導や講習会を行いました。
- ② たじまピーマンの知名度向上を目的に、主要取引市場等でのPRイベントを行いました。
令和5年度出荷量 561.7t（前年対比 93.6%）
令和5年度販売高 223,191千円（前年対比 119.4%）
- ③ たじまピーマン新選果施設の稼働を開始しました。
- ④ ハウスを活用したピーマン施設栽培技術の検証を実施しました。
- ⑤ 朝倉さんしょは雄木への鶏糞施肥や市場の高いニーズを踏まえた販売努力により、出荷量、販売高ともに前年を上回る結果となりました。
令和5年度出荷量 17.4t（前年度対比 108.0%）
令和5年度販売高 69,071千円（前年度対比 172.8%）
- ⑥ 岩津ねぎ、香住梨、大納言小豆等、地域特産品目の振興に取り組みました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み実績

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年対比
たじまピーマン収量 / 本	5.7kg	5.2kg	91.2%
ピーマン選果施設荷受量	599.7t	561.7t	93.6%
ピーマン作付本数	105,267本	106,653本	101.3%
朝倉さんしょ販売数量	16.1t	17.4t	108.0%
大納言小豆作付面積	29.1ha	30.0ha	103.0%

営農指導・利用・資材・農機事業

- ① 新たに有機JAS栽培に取り組むコウノトリ育むお米の生産者にGH農場評価制度(※1)を実施し、GAP(※2)の取り組みを普及・拡大しました。
- ② 国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、関係機関と連携して環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換サポート事業による、環境負荷の低減技術の実証に取り組みました。
- ③ ピーマン栽培技術の指導力向上に向け、生産者の協力も得て職員研修圃場を設置し、職員研修会を4回開催しました。
- ④ 農福連携の一環として、行政の紹介に基づき浜坂の福祉事業所によるピーマン農家への収穫作業支援を実施しました。
- ⑤ 但馬全域 86 地点で土壌分析を実施し、成分過不足を「見える化」した水稻土壌マップに基づく適正施肥を指導しました。
- ⑥ 総合事業を通じた経営支援・営農相談のため、TAC(担い手相談員)と常勤理事・支店長が担い手農家へ同行訪問しました。
- ⑦ 品質向上や収量増加に向けた栽培技術指導をタイムリーに行うため、担い手農家向けにLINEを活用した営農情報の発信に取り組みました。
- ⑧ 肥料価格高騰対策として、国の肥料価格高騰対策事業及び化学肥料低減定着事業に取り組みました。
- ⑨ 担い手農家向け大型規格資材の供給を通じて、生産コストの低減に取り組みました。
- ⑩ 令和5年産から薬剤を使用せず水稻種子消毒を行う「温湯消毒施設」の稼働を開始し、53.6tを種子消毒しました。
- ⑪ コウノトリ育むお米(無農薬栽培)を増産していくため、栽培講習会を各地域で14回開催しました。
- ⑫ 農機センターとTACの連携により、農業融資や補助事業など総合的な提案活動を行いました。

⑬農機展示会を開催し、最新農機や中古農機の展示を行うとともに、農作業事故防止に向けた講習会を実施しました。

※1 GH農場評価制度…グリーンハーベスター農場評価制度。GAP規範をどの程度満たしているか評価するためのシステムです。

※2 GAP…農業生産工程管理。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み実績

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年対比
カントリーエレベーター・ライスセンター利用	5,596 t	4,947 t	88.4%
水稲苗供給	493,464箱	470,625箱	95.3%
GH農場評価制度実践	1組織16農家	1組織17農家	+1農家
極早生多収穫米収量/10a	512.5 kg	425.6 kg	83.0%
Z-GISの普及	28農家	33農家	+5農家
大容量貯留ビン貸出数	4件	4件	100.0%

たじまんまの活動

- ①令和5年10月のインボイス制度の導入に伴い、来店者がラベルシールで課税事業者と免税事業者の商品を判断できるよう表示方法を変更しました。
- ②全国各地の提携JAに但馬の特産物を積極的に販売し、知名度向上・販売拡大に取り組みました。また、但馬にはない農畜産物は、産地直送便を活用することで、魅力ある直売所の運営を行いました。
- ③盆花講習会を定期的に行い、出荷量と品質の向上に取り組みました。
- ④営農生活センターを巡回するルート便を増便し、たじまんま和田山の品揃えの充実に取り組みました。
- ⑤全国各地の消費者のニーズに応えるため、インターネット販売サイトの見直しと、商品の充実に取り組みました。
- ⑥温室効果ガス削減への貢献度合いを示す農林水産省の「三ツ星ラベル」の取り組みで、コウノトリ育むお米が「星三つ（削減率20%以上）」を獲得し、たじまんま販売分にラベル貼り付けを開始しました。
- ⑦情報発信を強化するため、たじまんま公式LINEアカウントを取得し、旬の情報のタイムリーな発信を行いました。
- ⑧売上金の一部を兵庫の農林水産業の活性化に活用される「兵庫の農林水産支援自販機」をたじまんまに設置しました。
- ⑨能登半島地震への支援として、豊岡店で北陸応援フェアを開催するとともに、出荷者の協力を得て、こども食堂が実施した炊き出しへ、たじまんまから食材提供を行いました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み実績

項目	令和5年度計画	令和5年度実績	計画対比
ファーマーズマーケット委託販売	4億9,000万円	4億9,783万円	101.5%
たじまんま新規出荷者数(豊岡・和田山合計)	58人	51人	-7人
たじまんま地元野菜定期配送先(飲食店向け)	5件	8件	+3件

たじまんま(豊岡)の実績

来店者数(のべ)	305,112人	レジ通過者(前年対比99.7%)
出荷登録者数	676名	(新規出荷者28名)
総売上高(税抜)	8億5,511万円	地米屋、肉の店(豊岡店)含む(前年対比103.4%)

JAファーマーズ・たじまんま和田山の実績

出荷登録者数	290名	(新規出荷者23名)
総売上高(税抜)	1億1,490万円	直売所販売高のみの金額(前年対比104.8%)

※和田山店の来店者数はJAファーマーズ店舗全体の来店客数の内数のため未記載です。

但馬牛^{ぎゅう}のブランドを高める肉の店

- ①管内畜産農家を支えるため、地元肥育の但馬牛にこだわった仕入れを行うとともに、店頭だけでなく、湯村温泉や城崎温泉などの観光地へ積極的に営業活動を行って販売拡大に取り組みました。
- ②インターネット販売の商品の充実や、インスタグラムでの情報発信強化に取り組みました。
- ③提携JAやイベントでの出張販売を行い、魅力ある但馬牛の知名度向上と販路拡大に取り組みました。
- ④兵庫県畜産共進会臨時セリ市で地元生産者の肉牛4頭を購入し、肉の店で販売しました。

営農関連施設の利用実績

施設	利用状況	備考	
カントリーエレベーター ライスセンター	カントリーエレベーター	2,495.9 t	1施設
	ライスセンター	2,451.1 t	3施設
	合計	4,947.0 t	
育苗センター	水稻育苗	470,625箱	
水稻種子センター	水稻種子	569.2 t	
温湯消毒施設	水稻種子	53.6 t	
種子消毒施設	水稻種子	125.7 t	
無人航空機防除	防除実績	1,038.8ha	無人ヘリ、ドローン
梨花粉開葯施設	生葯	91.0 ㍔	香住
加工施設	精米	772.4 t	
集出荷施設 (主要品目)	キャベツ	161.7 t	JAたじまピーマン選果施設(但東) 岩津ねぎ包装センター(朝来)等
	だいこん	723.7 t	
	ピーマン	561.8 t	
	ねぎ	97.0 t	
	ほうれんそう	43.0 t	
	梨	104.8 t	香住梨自動選果施設(香住)
	黒大豆	6.2 t	黒大豆乾燥調製施設(和田山)
美方大納言小豆	2.5 t	美方大納言小豆調製施設(村岡)	

肉の店実績

		販売高
本	店	2億0,338万円
豊	岡店	1億6,533万円
合	計	3億6,871万円

畜産事業の活動結果

畜産振興

- ①「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が世界農業遺産に認定されました。
- ②令和5年(1月～12月)の全国の子牛市場平均価格は9年ぶりに60万円を割り、前年対比14.9%安の56万9,134円(税込)でしたが、但馬家畜市場は前年対比1.4%増の79万7,190円(税込)

となり、全国2位となりました。

- ③子牛せり市出場頭数は3,212頭で、前年対比128頭増となりました。
- ④畜産クラスター事業（※）や生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）など、各種補助事業を活用して、管内繁殖農家の経営安定支援に取り組みました。
- ⑤第105回兵庫県畜産共進会が但馬家畜市場で開催され、JAたじまは種牛の部は10年連続、肉牛の部は3年振りに団体優勝をするなど、優秀な成績を収めました。
 【団体】種牛の部：優勝 JAたじま 肉牛の部：優勝 JAたじま
 【個人】種牛の部：名誉賞「みさち」号 上田 伸也（香美町）
 【個人】肉牛の部：名誉賞「一範」号 太田 克典（養父市）
- ⑥但馬家畜市場の安定運営のため、せりシステム機器を更新しました。
- ⑦JAたじま主催の神戸ビーフ枝肉共励会を年間5回開催し、神戸ビーフ・但馬牛ブランドの一層の評価向上につとめました。

※畜産クラスター事業・・・畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための農林水産省の事業。

畜産事業実績

項 目	販 売 実 績	取 扱 数 量
子 牛	17億2,045万円	2,842頭
肥 育 牛	7億0,632万円	415頭
採 卵	2,887万円	71 t
合 計	24億5,564万円	

福祉・経済・生活事業の活動結果

くらしに安心を与える介護福祉事業

- ①豊岡・浜坂・南但介護センターでは、利用者に寄り添ったケアプランの作成や、自宅で健康的に過ごしていただけるよう訪問介護サービスを提供しました。
- ②豊岡東・七釜デイサービスセンター、豊岡ショートステイでは、職員による銭太鼓の披露や、利用者・スタッフが一緒に合唱する演奏会を開催し、利用者にお楽しみいただきました。
- ③コロナやインフルエンザなどの感染症対策を徹底し、利用者が安心して利用できる事業運営につとめました。
- ④地域の組合員・利用者にJAたじまの介護福祉事業を知っていただくため、支店で開催する「ふれあいまつり」でPR活動を行いました。

介護福祉事業実績

訪問介護事業（ヘルパーによる訪問介護事業）	年間延利用人数	3,436人
居宅介護支援事業（ケアマネジャーによるケアプランの作成）	年間延利用人数	4,585人
通所介護事業（デイサービス）	年間延利用人数	15,020人
短期入所生活介護事業（ショートステイ）	年間延利用人数	5,065人
高齢者生活支援事業	年間延利用人数	190人
介護支援専門員		14名
介護福祉士		42名
訪問介護員		44名

くらしの安全・安心を守る生活購買事業

- ①国産原料や安全・安心な原料・製造方法にこだわった商品を提供する「JAくらしの宅配便」のインターネット注文を開始しました。

快適で環境にやさしいLPガス事業

- ①法令に基づくJAガス供給設備と各家庭のガス器具の保安点検を実施し、安全管理に取り組みました。
- ②ひとり住まい老人宅や高齢者宅を訪問し、ガス器具の点検による事故の未然防止とくらしの不安を取り除く「シルバーサポート活動」に取り組みました。
- ③ガス器具の展示販売会を10会場、のべ12日間開催し、最新でくらしに役立つガス器具の提案を行い、多くの方にご利用いただきました。

旅行事業・健康管理事業

- ①幅広いニーズに応える募集旅行「べじたぶる」企画を提案し、昨年を上回る参加がありました。(310名参加)
- ②夏休みと春休みに但馬全域の小学生高学年を対象とした但馬空港発飛行機体験搭乗ツアーを実施しました。(202名参加)
- ③散策など体を動かす内容を盛り込んだ新しい年金友の会旅行を実施しました。(626名参加)
- ④組合員・地域住民の健康増進をはかるため、町ぐるみ健診や特定健診を実施しました。(19会場 10,862人受診)

信用事業の活動結果

よりよい農業経営に向けた農業融資・税務相談

- ①農業者のメインバンクとして、多様な農業者・担い手・集落営農を支援するため、JAバンク利子補給制度「リミテッド」を活用した低利な営農関係資金の提供に取り組みました。
- ②組合員向け確定申告セミナーを開催し、農業者の税務相談に対応しました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み実績

項目	令和5年度計画	令和5年度実績	計画対比
農業融資(アグリマイティー資金)	2億5,000万円	5億2,595万円	210.3%

くらしに寄り添うJA貯金・JAローン

- ①夏の定期貯金キャンペーンや生活応援定期貯金キャンペーン、バレンタイン定期貯金キャンペーンなどを実施しました。
- ②三大疾病保障付住宅ローンなど、組合員・利用者の多様なニーズに対応した住宅ローンや、低利で利用しやすいマイカーローン・教育ローンなどの提供に取り組みました。

住宅ローン	129件	30億5,955万円
小口ローン(マイカー・教育・フリー)	510件	11億6,773万円

便利でお得なサービス

- ①パソコンやスマートフォンを利用し、タイムリーに口座残高や入出金明細を確認できる「JAバンクアプリ」や、振込や照会ができる「JAネットバンク」の提供に取り組みました。
- ②年金友の会会員の限定サービスとして、年金定期貯金や誕生日・喜寿・米寿のプレゼント、現金宅配サービスの実施、協賛店舗・施設で利用いただける割引クーポンを配布しました。
- ③JAたじまで給与・年金を受け取りされる方、統一ローン利用者を対象に、ゆうちょ銀行・コンビニ3社のATM手数料とインターネットバンキング手数料を月3回まで無料化（令和6年3月25日から月5回に変更）し、利用促進に取り組みました。
- ④投資信託のネット取引や統一ローンのWeb申し込み受付など、非対面取引の拡充に取り組みました。

充実の相談活動と安心なつながりづくり

- ①日曜日も営業するローンプラザ（豊岡・和田山）では、住宅ローン・マイカーローンなど各種ローンについて、より気軽に相談できる店舗づくりにつとめました。（土曜・祝日定休）
- ②「TA（トータルアドバイザー）」による組合員・利用者の資産状況を踏まえた総合的な相続相談対応に取り組みました。
個別相談件数 190件
- ③「CA（コンサルティングアドバイザー）」による投資信託等を活用した資産形成・運用の提案活動に取り組みました。
投資信託 621件 2億3,426万円
- ④特殊詐欺未然防止を目的に、支店窓口で積極的な「声かけ運動」を実施しました。

共済事業の活動結果

長期共済

- ①多様化・多発化するリスクへの保障ニーズに応えるため、3Q活動を通じた提案活動により保障の普及拡大に取り組みました。

長期・自動車共済新契約	1,224万8,865ポイント
生命共済新規（万一）	213万6,330ポイント
医療基盤保障	115万9,523ポイント
長寿保障	119万9,780ポイント
建物更生共済	214万9,778ポイント
自動車共済新規	214万9,060ポイント
- ②近年の自然災害の増加を受け、風水害や雪害、地震などの自然災害による被害にも対応した建物更生共済「むてきプラス」「My家財プラス」の普及に取り組みました。
- ③タブレット端末を活用した、より分かりやすい提案活動に取り組み、ペーパーレス・キャッシュレス手続きによる迅速な事務手続きに取り組みました。

短期共済

①共済代理店と連携し、自動車・自賠責共済の普及拡大に取り組みました。

自動車共済 33,449 件

自賠責共済 15,324 件

②「但馬サービスオフィス」を拠点に、高い専門性を持ったスタッフが自動車損害調査を行い、迅速な対応につとめました。

利用者総合満足度 97.8% (令和6年3月末)

相談・対応機能の向上

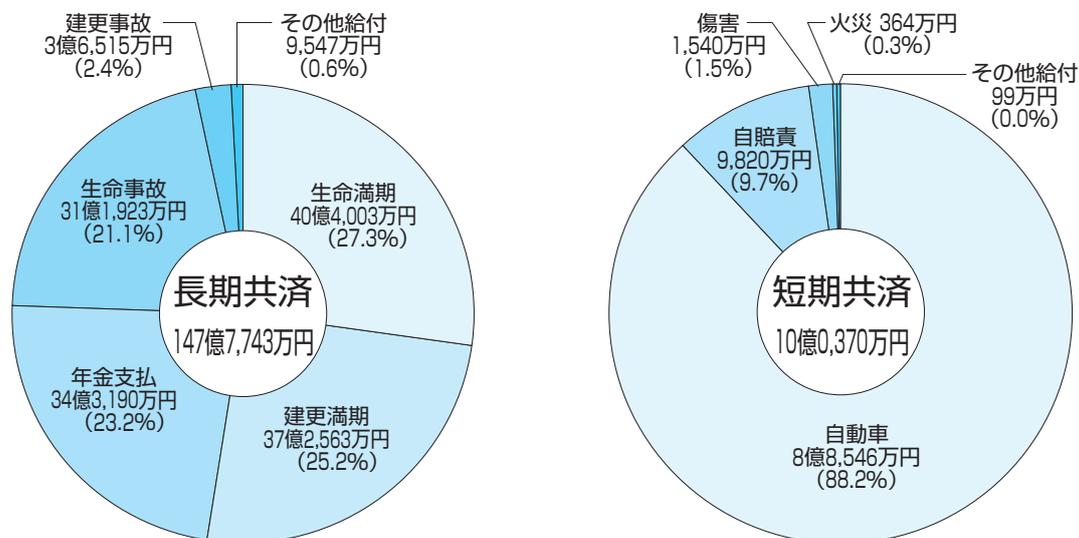
①組合員・利用者の利便性向上に向け「Webマイページ」「JA共済アプリ」の登録・活用促進に取り組みました。

②顧問弁護士による無料交通事故相談を実施しました。

③大規模災害発生時に備え、損害調査体制の整備・充実に取り組みました。

共済金のお支払い

長期共済・年金共済	19,562 件	147 億 7,743 万円
うち建物共済支払実績 (令和6年3月末)	548 件	3 億 6,515 万円
短期共済	3,533 件	10 億 0,370 万円



地域貢献・SDGs・カーボンニュートラル

①食農教育や環境保全に取り組む管内小学校へ活動費の一部をJAが助成する「食農教育応援事業」に取り組みました。(15 小学校)

②たじまんまを通じて、地域のこども食堂へ食材を無償提供しました。

③子どもたちや地域住民の健康増進や仲間づくりを応援するため、スポーツ大会（サッカー、バレーボール、野球、卓球）に協賛しました。

④カーボンニュートラルの促進のため、このとりカントリーエレベーターにソーラーパネルを設置しました。

広報・教育・組織活動・他組織連携

広報活動

- ① JAたじまの活動を広く地域住民にお知らせするため、令和6年1月から、組合員宅に限定して配布していた広報誌「リレーション」を、新聞折り込みの「リレーション+(プラス)」に変更しました。
- ② 日本農業新聞への記事投稿や、マスメディアへのプレスリリースを積極的に行い、地域の農業やJA情報の発信に取り組みました。(プレスリリース 20本)
- ③ SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用したタイムリーな情報発信にも積極的に取り組みました。
(登録数：Instagram 530人 Facebook 843人 LINE 2,003人)
- ④ 管内の小中学生からデザインを募集し、最優秀作品をもとにJAたじまのマスコットキャラクター「もぎゅ太」を作成しました。

教育・学習の活動

- ① 小学生(3～6年)を対象にした食農教育活動「あぐりキッズスクール」を、豊岡・村岡の2会場で開催しました。
- ② 各支店では、未就学児とその親子を対象にした料理教室「ママ友クラブ」を開催し、新たなJAファンづくりに取り組みました。
- ③ 家の光協会が発行する小学生向け雑誌「ちゃぐりん」を活用した「ちゃぐりんフェスタ」や、子育て世代を対象にした料理教室「スマイルクッキング」を豊岡・和田山のJAの調理施設で開催し、新たなJAファンづくりに取り組みました。
- ④ 子どもたちの食農教育活動として、JA職員による小学校への出張授業や、生産者の圃場を借りた収穫体験活動などに取り組みました。

組織活動

- ① 地域ふれあい活動の一環として、各支店でスマホ教室を開催するとともに、清掃活動や健康増進活動、食農教育活動など様々な地域貢献活動に取り組みました。
実施件数 23支店 316件
- ② たじまJA女性会では、活動で栽培した野菜を子ども園へプレゼントしたり、日頃の活動を介護施設で披露するなど、様々な地域貢献活動に取り組みました。

他組織連携

- ① JAたじまと日本航空(株)・(株)農協観光がパートナーシップ協定を締結し、JAたじま本店内に「JJエリアセンター但馬」を開設しました。
- ② JJエリアセンター但馬の取り組みとして、但馬の農業の魅力発信や将来的な労働力支援にもつながるよう、但馬外の方を対象とした収穫体験ツアーや援農ボランティアツアーを企画・実施しました。
- ③ 豊岡社会福祉協議会と連携し、福祉団体に支店で開催した「ふれあい祭り」に出店いただきました。
- ④ 神戸国際調理製菓専門学校とのコラボ企画として、たじまんまの食材を使用する「料理コンテスト授業」を開催しました。

多様な組合員の意見を反映したJA運営

- ① 准組合員や組合員ではない地域住民の方に「地域ふれあい委員会」に参加いただき、地域ふれあい活動を通じたJA理解の醸成や、JA運営に幅広い意見を反映させるようつとめました。
- ② 地区別総代懇談会を開催し、総代に向けてJA方針や令和4年度決算に関する説明および意見とりまとめ実施し、通常総代会や個別での回答・対応を行いました。

地域ふれあい委員会	23支店	計64回
地区農協委員会	22地区	計55回
地区代表農協委員会	年3回	
地区別総代懇談会	6会場	
- ③ JAたじま役員とたじまJA女性会本部役員の対話会を開催しました。

JAの経営基盤の確立・強化

組 織

- ① 組合員加入運動に取り組み、組織基盤強化をはかるとともに、相続時の組合員資格・出資金の次世代への継承に取り組みました。

組合員加入運動による新規加入者	629名
相続譲渡実施割合	49%

* 相続譲渡実施割合 = 相続人数 ÷ (被相続人 + 法定脱退人数)

経 営

- ① JA全中が主催する全国のJAを対象とした表彰において、JAたじまの永年にわたる事業・取り組みが総合的に評価され、最高の賞である「特別優良農業協同組合表彰」を受賞しました。
- ② 役職員全体で各種研修によるコンプライアンス意識の向上や、業務マニュアルの運用徹底による内部統制の強化に取り組みました。
- ③ 営農事業や畜産事業において業務のシステム化・DX化を促進し、指導体制の強化と業務の効率化を進めました。
- ④ JA兵庫中央会主催の若手のコア人材研修修了者による業務改善提案プロジェクトを実施し、業務改善に取り組みました。
- ⑤ 令和4年度決算に基づき、令和5年7月に出資配当および事業分量配当を行いました。
- ⑥ 遊休資産の解体工事や境界確定など処分条件を整備するとともに、売却を進めました。(令和5年度売却実績：5件)
- ⑦ 令和6年3月末に和田山北店を閉店しました。

2. 月別活動結果

4 月	3 JJエリアセンター但馬 開設（JAたじま本店） 12 子牛市（但馬家畜市場） 14 年金友の会 総会（JAたじま本店） 27 理事会・監事会（JAたじま本店）
5 月	10 子牛市（但馬家畜市場） 14 あぐりキッズスクール村岡会場入校式（村岡営農生活センター） 21 あぐりキッズスクール豊岡会場入校式（豊岡営農生活センター） 25 理事会・監事会 26 ふるさと但馬米振興会 産地交流田「田植え」（豊岡市八社宮）
6 月	7 JAたじまピーマン選果施設稼働開始（豊岡市但東町） 12 理事会・監事会（JAたじま本店） 14 年金友の会グラウンドゴルフ大会（全但バス但馬ドーム） 17 第28回通常総代会（豊岡市民会館） 17 理事会・監事会（JAたじま本店） 20 ふるさと但馬米振興会 産地交流田「生きもの調査」（豊岡市八社宮）
7 月	1～2 たじまんま創業祭（たじまんま） 2 コウノトリ育むお米生産部会 コープ自然派「生きもの調査」（豊岡市八社宮） 7 「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」世界農業遺産認定 9 JAたじま杯但馬小学生バレーボール大会（香美町小代ドーム・福岡体育館） 12 子牛市（但馬家畜市場） 25 理事会・監事会（JAたじま本店） 25 コウノトリ育むお米オンライン食農教育授業（JAたじま・香港日本人学校）
8 月	2～3 JAL・Nツアー社員研修受入 ピーマン収穫支援（豊岡市岩熊） 2～3 JAL CAによるマナー・クレーム対応研修会（JAたじま本店） 20 但馬家庭婦人交流バレーボール大会JAたじま杯（豊岡市日高文化体育館） 25 令和5年産米出荷式（こうのとりにカントリーエレベーター） 25 理事会・監事会（JAたじま本店）
9 月	13 子牛市（但馬家畜市場） 13 ふるさと但馬米振興会 産地交流会「稲刈り」（豊岡市八社宮） 18 JJエリアセンター但馬 野菜収穫ツアー（但馬管内） 18 ママ友くらぶ（キッチンたじま） 20～10/4 JAグループ職員援農ボランティア（豊岡市岩熊） 27 理事会・監事会（JAたじま本店）
10 月	9/30～1 JAたじま杯兵庫県U-10 サッカー選手権大会（豊岡市玄武洞スポーツ公園） 11～20 年金友の会大会（豊岡・日高・養父・新温泉・朝来） 11 子牛市（但馬家畜市場） 22 JAたじま杯少年野球新人大会（和田山スポーツ公園） 26 第105回兵庫県畜産共進会（但馬家畜市場） 27 理事会・監事会（JAたじま本店）
11 月	6 自転車交通安全教室（日高高等学校） 8 子牛市（但馬家畜市場） 12 子育て世代の料理教室「スマイルクッキング」（キッチンたじま） 18 アンパンマン交通安全キャラバン（但馬空港ターミナル 多目的ホール） 25～26 たじまんま収穫祭（たじまんま） 28 理事会・監事会（JAたじま本店） 29 自転車交通安全教室（豊岡総合高校）

12月	6	農林水産業支援自動販売機除幕式（たじまんま）	
	7	JAたじま多収穫米選手権 2023 表彰式（JAたじま本店）	
	13	子牛市（但馬家畜市場）	
	14	ふるさと但馬米食味コンテスト表彰式（JAたじま本店）	
	20～31	たじまんま歳末フェア（たじまんま）	
	27	理事会・監事会（JAたじま本店）	
1月	10	子牛市（但馬家畜市場）	
	10	農機初荷式（農機センター）	
	25	理事会・監事会（JAたじま本店）	
	26	こうのとりにカントリーエレベーター ソーラーパネル設置	
	27～28	たじまんま「JALフェア」（たじまんま）	
2月	2	JAたじま役員とたじまJA女性会本部役員との対話会（JAたじま本店）	
	9	令和5年度防災・減災に向けた支援活動 寄贈式（養父市役所）	
	14	子牛市（但馬家畜市場）	
	14	令和5年度防災・減災に向けた支援活動 寄贈式（香美町役場）	
	16	監事会（JAたじま本店）	
	17	ちゃぐりんフェスタ（キッチンたじま）	
	28	理事会・監事会（JAたじま本店）	
3月	1～2	農機春の大展示会（JA全農兵庫但馬センター）	
	2	子育て世代の料理教室「スマイルクッキング」（キッチンたじま）	
	3	JAたじま杯小学生卓球大会（日高文化体育館）	
	9	子育て世代の料理教室「スマイルクッキング」（和田山キッチンスタジオ）	
	13	子牛市（但馬家畜市場）	
	16	ちゃぐりんフェスタ（和田山キッチンスタジオ）	
28	理事会・監事会（JAたじま本店）		
役員会開催数	理事会	13回	
	常勤理事会	12回	
	理事委員長・副委員長会	5回	
	総務企画委員会	11回	
	金融生活委員会	11回	
	営農畜産委員会	11回	
	監事会	14回	
監査・検査	みのり監査法人監査	期末監査（令和4年度決算）	令和5年 5月11日～17日
	みのり監査法人監査	期中監査（内部統制整備状況評価等）	令和5年 10月11日～17日
	みのり監査法人監査	期中監査（内部統制運用状況評価等）	令和6年 2月19日～22日
	みのり監査法人監査	期中監査（資産査定調査）	令和6年 3月25日・26日
	兵庫県常例検査		令和5年 8月17日～24日
	監事監査	P42 参照	

3. 当事業年度における重要事項

- (1) JJエリアセンター但馬をJAたじま本店旅行センター内に開設しました。（4月）
- (2) JAたじまピーマン選果施設の稼働を開始しました（6月）
- (3) こうのとりにカントリーエレベーターにソーラーパネルを設置しました。（1月）

4. 財務・事業成績の推移

事業の概況、貸借対照表、損益計算書等の記載単位は、千円未満の端数は切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。
また、期末に残高の無い勘定科目は「-」で表示しています。

(単位：千円)

区分	項目	2年度	3年度	4年度	5年度
財務	事業利益	553,718	393,458	448,004	378,385
	経常利益	887,884	707,199	675,463	736,919
	当期剰余金	506,018	332,579	557,443	522,977
	総資産	394,221,424	401,221,908	400,777,061	397,595,140
	純資産	20,443,537	20,569,787	20,632,586	21,062,218
信用事業	貯金	367,216,352	373,884,503	373,227,550	370,114,500
	預金	299,842,192	303,229,863	296,341,410	285,913,233
	貸出金	51,615,934	53,859,299	56,858,478	58,519,631
	有価証券	5,720,568	7,255,253	10,283,459	15,885,228
共済事業	長期共済保有高	1,048,779,260	997,252,539	953,815,294	908,449,390
	短期共済新契約掛金	1,943,023	1,920,666	1,894,304	1,864,570
購買事業	購買品供給・取扱高	2,689,569	2,717,512	2,807,515	2,689,229
販売事業	販売品販売・取扱高	6,772,007	6,820,184	6,573,634	6,970,954

5. 単体自己資本比率

当組合の単体自己資本比率 13.87% (令和6年3月31日現在)

6. 対処すべき重要な課題

(1) 中期計画 Plan2024・経営改善計画の着実な実践

「強みを伸ばす」「暮らしを守る」の方向性のもと、最終年度となる中期計画 Plan2024 および経営改善計画の着実な実践をすすめ、「多様な担い手農家の所得増大」「持続可能な農業への支援」「地域の生活インフラを担うJAとしてのサービス展開」「組合員の参画拡大・メンバーシップの向上」の実現を目指すとともに、健全経営に向けた事業・経営体制の変革に取り組みます。

(2) 中長期的視点に立った次期中期計画の検討

組合員のくらしや事業・経営を取り巻く環境が変化していく中、将来にわたって組合員サービスを提供し続けるため、中長期的視点に立った次期中期計画の検討を行います。

Ⅱ. 組合の運営組織の状況に関する事項

1. 総代会の開催状況

令和5年6月17日午前10時30分から開催

第28回通常総代会

総代会日現在総代数		590名
出席 総代数	本人	288名
	代理人	0名
	書面	253名
	合計	541名

●重要な議事および議決事項

令和4年度事業報告および剰余金処分案の承認について

令和5年度事業計画の設定について

役員を選任について

他4議案

2. 組合員数および出資口数

(1) 組合員数

(単位：名、法人)

資格区分		前期末	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	20,203	228	811	19,620	
	法人	農事組合法人	29	—	1	28
		その他の法人	40	12	1	51
	計	20,272	240	813	19,699	
准組合員	個人	25,986	791	892	25,885	
	農業協同組合	—	—	—	—	
	農事組合法人	9	1	—	10	
	その他の団体	111	32	2	141	
	計	26,106	824	894	26,036	
合計	46,378	1,064	1,707	45,735		

備考 当期末正組合員戸数 15,490戸

当期末准組合員戸数 16,553戸

合計 32,043戸

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		前期末	当期増加	当期減少	当期末	
正組合員	個人	253,716	6,784	11,464	249,036	
	法人	農事組合法人	114	—	1	113
		その他の法人	570	35	10	595
	計	254,400	6,819	11,475	249,744	
准組合員	個人	173,766	15,701	7,330	182,137	
	農業協同組合	—	—	—	—	
	農事組合法人	174	16	—	190	
	その他の団体	1,538	39	8	1,569	
	計	175,478	15,756	7,338	183,896	
処分未済持分	1,700	2,526	1,700	2,526		
合計	431,578	25,101	20,513	436,166		

備考 (1)出資1口金額 10,000円

(2)当期末払込済出資総額 4,361,660,000円

(3)1正組合員当たり出資金額 126,780円

3. 役員の状況

(非常勤理事は選出区毎に50音順で記載)

選出区	役職名	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏名	備考
豊岡北地区	代表理事組合長	常勤	有	太田垣 哲 男	実践的能力者
学識経験	代表理事専務	常勤	有	山下 正 明	実践的能力者
	常務理事	常勤	無	西谷 浩 喜	実践的能力者、営農生産・畜産担当
	常務理事	常勤	無	仙賀 秀 和	実践的能力者、金融共済担当
	常務理事	常勤	無	田原 良 次	実践的能力者、総合企画・総務・生活福祉担当
豊岡北地区	理 事	非常勤	無	小川 勇	
	理 事	非常勤	無	西沢 泰 裕	認定農業者
	理 事	非常勤	無	花光 亮	
	理 事	非常勤	無	福本 明 美	認定農業者
豊岡南地区	理 事	非常勤	無	加藤 勉	認定農業者に準ずる者
	理 事	非常勤	無	霜倉 和 典	認定農業者
	理 事	非常勤	無	西田 清	
	理 事	非常勤	無	久田 恵美子	
美方地区	理 事	非常勤	無	小林 好	
	理 事	非常勤	無	須川 多華子	
	理 事	非常勤	無	竹中 敦	実践的能力者
	理 事	非常勤	無	谷口 修	認定農業者に準ずる者
養父地区	理 事	非常勤	無	森脇 薫 明	認定農業者
	理 事	非常勤	無	上垣 美由紀	認定農業者に準ずる者
	理 事	非常勤	無	小川 宏 昭	認定農業者
	理 事	非常勤	無	澤見 弘 三	
朝来地区	理 事	非常勤	無	藤林 敏 彦	実践的能力者
	理 事	非常勤	無	大槻 勝 久	実践的能力者
	理 事	非常勤	無	梶本 さつき	
	理 事	非常勤	無	中尾 盛 雄	
青 年	理 事	非常勤	無	濱 利 樹	実践的能力者
学識経験	理 事	非常勤	無	植田 博 成	認定農業者
	常勤 監 事	常勤		福井 義 彦	
全地区	監 事	非常勤		岩井 継 郎	
	監 事	非常勤		天橋 徹	
	監 事	非常勤		中村 優	
	監 事	非常勤		田村 力	
員 外	監 事	非常勤		竹田 修	

(備考) 1. 農協法第30条第12項の理事構成の要件を満たしています。

なお、当組合は、理事構成の要件として「理事の過半数を、認定農業者・認定農業者に準ずる者・実践的能力者で構成(施行規則第76条の2第1項第2号)」を選択しています。

2. 当組合は、保険会社との間で、理事および監事を被保険者とした役員賠償責任保険契約(農協法第35条の8に規定する保険契約)を締結しています。当該保険契約は、被保険者が組合の役員の地位に基づき行った行為(不作為を含む)に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用の損害等を補填するものです。

4. 会計監査人の状況

当組合の会計監査人は、みのり監査法人であり、業務執行社員は、公認会計士 北川健二氏および公認会計士 安田智則氏であります。

5. 役職員の状況

(1) 役員数

定款に定める理事数
定款に定める監事数

21人以上 31人以内
5人以上 7人以内

(単位：名)

区 分	5年度期首	5年度期末
理 事 (うち常勤)	29 (5)	27 (5)
監 事 (うち常勤)	7 (1)	6 (1)
合 計 (うち常勤)	36 (6)	33 (6)

(2) 職員数

(単位：名)

区 分	前期末	当期増	当期減	当 期 末		
				男	女	計
正 職 員	513	20	33	354	146	500
準 職 員	187	20	22	41	144	185
パ ー ト	2	1	2	1	0	1
合 計	702	41	57	396	290	686

※ 期末職員数には、期末退職者を含みます。

(単位：名)

区 分	前期末	当期末
営 農 指 導 員	67	63
生 活 指 導 員	7	7

※ 期末職員数には、期末退職者を含みます。また、現職従事者のみ記載しております。

6. 組織の構成

機構図は76ページ～77ページに掲載しています。

7. 主な組合員組織

(1) 営農組織（JAたじま管内全域）

(令和6年3月31日現在) (単位:名)

区 分	部 会 名	構成員数
米	ふるさと但馬米振興会	845
	つちかおり米協議会	268
	コウノトリ育むお米生産部会	258
野 菜	ピーマン協議会	167
果 樹	JAたじま朝倉さんしょ部会	642
畜 産	JAたじま和牛部会	114
	JAたじま肉牛部会	9
直 販 品	JAたじまファーマーズマーケット「たじまんま」出荷部会 北部支部	676
	JAたじまファーマーズマーケット「たじまんま」出荷部会 南部支部	290
青 壮 年 部	JAたじま青壮年部	27

(2) 営農組織（豊岡市）

(令和6年3月31日現在) (単位:名)

区 分	部 会 名	構成員数
生 産 部	ふるさと但馬米豊岡支部	203
	ふるさと但馬米日高支部	103
	ふるさと但馬米出石支部	87
	ふるさと但馬米但東支部	67
	豊岡ブロックつちかおり米生産部会	12
	日高つちかおり米生産部会	37
	出石・但東つちかおり米生産部会	55
	コウノトリ育むお米生産部会豊岡北部支部	66
	コウノトリ育むお米生産部会豊岡南部支部	121
	神鍋米生産部会	27
	豊岡あいがも稲作研究会	2
	日高酒米生産部会	7
	出石フクノハナ生産部会	49
会	豊岡そ菜部	12
	豊岡ピーマン部会	24
	神鍋高原園芸組合	13
	日高野菜出荷組合	34
	出石野菜生産組合	19
	但東町野菜生産組合	38
	但東シルク野菜部会	11
	きのこ部	28
果 樹 協 議 会	JAたじま朝倉さんしょ部会豊岡支部	84
	葡萄部	45
	豊岡果樹部	7

生 産 部 会	特産協議会	豊岡北支店農産物直売所	15
		日高農産物直売所	43
		いずし農産物直売所	26
		コウノトリ大豆生産部会	7
		JAたじま日高丹波黒大豆生産部	6
		JAたじま出石黒大豆生産組合	11
	畜産協議会	豊岡和牛部会	17
請負耕作部		豊岡請負耕作部会	10

(3) 営農組織（美方郡）

（令和6年3月31日現在）（単位：名）

区 分	部 会 名	構成員数	
生 産 部 会	稲作協議会	ふるさと但馬米 ^{たじま} みかた支部	178
		美方郡つちかおり米生産組合	135
		村岡米生産組合	15
		コウノトリ育むお米生産部会みかた支部	5
		浜坂兵庫北錦生産部会	47
		村岡種子生産組合	34
		棚田百選の村めきだ部会	5
		新温泉町種子生産組合	59
		かにのほほえみ米生産部会	6
		野 菜 園 芸 協 議 会	野菜園芸協議会
畑ヶ平農業生産組合	3		
香住野菜生産組合山椒部会	27		
軟白ねぎ生産者組合	12		
果 樹 協 議 会	果樹協議会	香住果樹園芸組合	38
		温泉町果樹園芸組合	12
		JAたじま朝倉さんしょ部会みかた支部	158
特 産 協 議 会	特産協議会	美方大納言小豆生産組合	95
		新温泉町産直部会	17
		浜坂朝市婦人会	22
		畜 産 協 議 会	畜産協議会
新温泉町畜産振興会	35		

(4) 営農組織（養父市）

（令和6年3月31日現在）（単位：名）

区分	部 会 名	構成員数	
生 産 部 会	稲作協議会	ふるさと但馬米振興会養父支部	75
		養父市つちかおり米生産部会	16
		養父市紙マルチ栽培米部会	2
		JAたじま蛇紋岩米部会	88
		コウノトリ育むお米生産部会養父支部	19
		養父市種子生産組合	79
	野菜園芸協議会	養父市ピーマン部会	23
		おおや高原有機野菜部会	9
		轟大根生産組合	4
		養父市フードプラン生産部会	11
		養父市枝豆生産部会	7
	果樹協議会	JAたじま八鹿農産物直売部会	40
㊦柿生産組合		3	
畜産協議会	JAたじま朝倉さんしょ部会養父支部	225	
	養父市和牛振興協議会	19	

(5) 営農組織（朝来市）

（令和6年3月31日現在）（単位：名）

区分	部 会 名	構成員数	
生 産 部 会	稲作協議会	ふるさと但馬米振興会朝来支部	132
		朝来市つちかおり米部会	13
		JAたじまコウノトリ育むお米生産部会朝来支部	47
	野菜園芸協議会	JAたじま岩津ねぎ部会	130
		朝来市ピーマン部会	15
	果樹協議会	JAたじま朝倉さんしょ部会朝来支部	175
特産協議会	JAたじまあさご黒大豆部会	60	
畜産協議会	JAたじま和牛部会朝来支部	5	

(6) 生活組織

(令和6年3月31日現在) (単位:名)

区 分	組 織 名	構 成 員 数
女 性 会	たじまJA女性会	1,133
高 齢 者 助 け あ い 組 織	豊岡介護センターひまわりの会	14
	浜坂介護センターひまわりの会	10
	南但介護センターひまわりの会	11
金 融	年金友の会	32,962
共 済	共済代理店会	134

(7) 協力・補完組織

(令和6年3月31日現在) (単位:名)

区 分	組 織 名	構 成 員 数
農 協 委 員 会		22地区768名
地 域 ふ れ あ い 委 員 会		23地区262名

8. 施設の設置状況

JAたじまの施設一覧

(令和6年4月1日現在)

種 別	施 設 名	〒	住 所	備 考
本店	本店	668-0051	豊岡市九日市上町 550-1	
本店	ローンプラザ	668-0053	豊岡市九日市中町 115	
本店	ローンプラザ和田山	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	和田山支店内に配置
本店	畜産部	667-0111	養父市大藪 1168	
支店	本店営業部	668-0046	豊岡市立野町 20-2	
支店	豊岡北支店	668-0014	豊岡市野田 161-1	
支店	豊岡南支店	668-0864	豊岡市木内 215	
支店	港支店	669-6124	豊岡市気比 4260	
支店	城崎支店	669-6101	豊岡市城崎町湯島 77-8	
支店	竹野支店	669-6201	豊岡市竹野町竹野 1510-1	
支店	香住支店	669-6544	美方郡香美町香住区香住 1262-14	金融・共済・営農一体化運営
支店	日高支店	669-5304	豊岡市日高町宵田 234-1	
支店	日高西支店	669-5365	豊岡市日高町十戸 335-1	
支店	出石支店	668-0221	豊岡市出石町町分 386-1	
支店	但東支店	668-0311	豊岡市但東町出合 108-1	金融・共済・営農一体化運営
支店	村岡支店	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2325-3	
支店	美方支店	667-1503	美方郡香美町小代区大谷 560-1	
支店	温泉支店	669-6822	美方郡新温泉町細田 506-1	
支店	浜坂支店	669-6702	美方郡新温泉町浜坂 1988	
支店	八鹿支店	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
支店	広谷支店	667-0102	養父市十二所 979-1	
支店	大屋支店	667-0311	養父市大屋町大屋市場 38-2	
支店	関宮支店	667-1105	養父市関宮 274-5	
支店	朝来支店	679-3431	朝来市新井 136-1	金融・共済・営農一体化運営
支店	生野店	679-3301	朝来市生野町口銀谷 317-41	
支店	和田山支店	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	
支店	山東支店	669-5103	朝来市山東町矢名瀬町 883-1	金融・共済・営農一体化運営
ATM(店外)	豊岡市役所	668-0033	豊岡市中央町 3-11	
ATM(店外)	フレッシュバザール豊岡九日市店	668-0051	豊岡市九日市中町 132	
ATM(店外)	三江	668-0811	豊岡市鎌田 79-1	
ATM(店外)	アイティ店	668-0031	豊岡市大手町 4-5	
ATM(店外)	コープデイズ豊岡	668-0023	豊岡市加広町 7-32	
ATM(店外)	フレッシュバザール正法寺パーク店	668-0063	豊岡市正法寺 102	
ATM(店外)	豊岡病院	668-0065	豊岡市戸牧 1094	
ATM(店外)	バザールタウン豊岡メガ・ストック館	668-0805	豊岡市船町字方ヶ島 318	
ATM(店外)	たじまんま	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	令和6年6月1日から稼働
ATM(店外)	港トリトン	669-6122	豊岡市瀬戸 77-6	
ATM(店外)	森本	669-6332	豊岡市竹野町森本 518-3	
ATM(店外)	さづ	669-6413	美方郡香美町香住区下岡 491	
ATM(店外)	日高庁舎	669-5305	豊岡市日高町祢布 945	
ATM(店外)	マックスバリュ日高店	669-5321	豊岡市日高町土居 367	
ATM(店外)	フレッシュバザール日高パーク店	669-5305	豊岡市日高町祢布 988	
ATM(店外)	道の駅 神鍋高原	669-5372	豊岡市日高町栗栖野 59-12	
ATM(店外)	出石医療センター	668-0238	豊岡市出石町弘原出石福祉ゾーン232	
ATM(店外)	資母	668-0345	豊岡市但東町中山 805-5	
ATM(店外)	バリュープラザ香住	669-6544	美方郡香美町香住区香住 899-1	
ATM(店外)	村岡地域局	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 396-1	
ATM(店外)	村岡ファームガーデン	667-1321	美方郡香美町村岡区大糠 10-1	

種 別	施 設 名	〒	住 所	備 考
ATM(店外)	射添会館	667-1368	美方郡香美町村岡区入江 715-2	
ATM(店外)	照来	669-6815	美方郡新温泉町桐岡 45-1	
ATM(店外)	小代JASS	667-1511	美方郡香美町小代区神水 495-2	
ATM(店外)	八田コミュニティセンター	669-6943	美方郡新温泉町千谷 850	
ATM(店外)	新温泉町本庁舎	669-6702	美方郡新温泉町浜坂 2673-1	
ATM(店外)	浜坂病院	669-6731	美方郡新温泉町二日市 184-1	
ATM(店外)	養父市役所	667-0021	養父市八鹿町八鹿 1675	
ATM(店外)	八鹿病院	667-0021	養父市八鹿町八鹿 1878-1	
ATM(店外)	フレッシュバザール八鹿店	667-0021	養父市八鹿町八鹿 1467-1	
ATM(店外)	養父地域局	667-0101	養父市広谷 250-1	
ATM(店外)	やぶYタウン	667-0115	養父市上箇 153-2	
ATM(店外)	フレッシュバザール朝来アルバ	679-3431	朝来市新井 128	
ATM(店外)	イオン和田山店	669-5215	朝来市和田山町枚田岡 774	
ATM(店外)	朝来市役所	669-5202	朝来市和田山町東谷 213-1	
ATM(店外)	竹田	669-5251	朝来市和田山町栄町 25-1	
ATM(店外)	ミニフレッシュ和田山宮田店	669-5242	朝来市和田山町宮田 966-1	
営農生活センター	豊岡営農生活センター	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
営農生活センター	日高営農生活センター	669-5304	豊岡市日高町宵田 234-1	
営農生活センター	出石営農生活センター	668-0221	豊岡市出石町町分 386-1	
営農生活センター	村岡営農生活センター	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2774	
営農生活センター	温泉営農生活センター	669-6831	美方郡新温泉町竹田 953-3	
営農生活センター	浜坂営農生活センター	669-6747	美方郡新温泉町三谷 194-2	
営農生活センター	八鹿営農生活センター	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
営農生活センター	和田山営農生活センター	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	
CE・RC	こうのとりカントリーエレベーター	668-0853	豊岡市清冷寺 474-1	
CE・RC	温泉ライスセンター	669-6831	美方郡新温泉町竹田 953-3	
CE・RC	浜坂ライスセンター	669-6747	美方郡新温泉町三谷 199-1	
CE・RC	八鹿ライスセンター	667-0012	養父市八鹿町伊佐 252	
乾燥施設	村岡小豆調製施設	667-1321	美方郡香美町村岡区大糠 16	
乾燥施設	朝来黒大豆乾燥調製施設	669-5268	朝来市和田山町枚田 520	
農業倉庫	豊岡農業倉庫	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
農業倉庫	竹野農業倉庫	669-6224	豊岡市竹野町鬼神谷 1-3	
農業倉庫	香住農業倉庫	669-6544	美方郡香美町香住区香住 1262-14	
農業倉庫	下岡農業倉庫	669-6413	美方郡香美町香住区下岡 496	
農業倉庫	日高農業倉庫	669-5321	豊岡市日高町土居 43	
農業倉庫	村岡農業倉庫	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2774	
農業倉庫	温泉農業倉庫	669-6831	美方郡新温泉町竹田 953-3	
農業倉庫	浜坂農業倉庫	669-6747	美方郡新温泉町三谷 198	
農業倉庫	伊佐農業倉庫	667-0012	養父市八鹿町伊佐 252	
農業倉庫	上箇農業倉庫	667-0115	養父市上箇 58-1	
農業倉庫	枚田農業倉庫	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	
育苗施設	豊岡水稻育苗施設	668-0853	豊岡市清冷寺 501-1	
育苗施設	出石水稻育苗施設	668-0204	豊岡市出石町宮内 381	
育苗施設	和田山水稻育苗施設	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	
育苗施設	たじま野菜育苗センター	667-0115	養父市上箇 47-7	
温湯消毒施設	JA たじま温湯消毒施設	668-0204	豊岡市出石町宮内 381	
種子センター	美方郡水稻種子センター	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2774	
種子センター	養父水稻種子センター	667-0115	養父市上箇 47-7	

種 別	施 設 名	〒	住 所	備 考
種子センター	八鹿水稻種子消毒施設	667-0115	養父市上箇 47-7	
集出荷場	日高集出荷場	669-5304	豊岡市日高町宵田 234-1	
集出荷場	太田出荷場	669-5371	豊岡市日高町太田 1041	
集出荷場	名色出荷場	669-5379	豊岡市日高町名色 300-1	
集出荷場	出石集出荷場	668-0204	豊岡市出石町宮内 381	
集出荷場	但東集出荷場	668-0311	豊岡市但東町出合 108-1	
集出荷場	香住梨自動選果施設	669-6544	美方郡香美町香住区香住 1262-14	
集出荷場	養父農産物集出荷場	667-0115	養父市上箇 47-7	
集出荷場	朝来資材倉庫兼出荷場	679-3431	朝来市新井 136-1	
集出荷場	岩津ねぎ包装センター	679-3401	朝来市物部 1661-1	
集出荷場	JA たじまピーマン選果施設	668-0312	豊岡市但東町南尾 150	
精米加工	精米工場兼米穀事務所	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
直売所	ファーマーズマーケット「たじまんま」	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
直売所	ファーマーズマーケット「たじまんま和田山」	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	「JA ファーマーズ」内
直売所	豊岡北農産物直売所	668-0014	豊岡市野田 161-1	
直売所	香住朝市	669-6544	美方郡香美町香住区香住 1262-14	
直売所	農協の八百屋さん日高店	669-5321	豊岡市日高町土居 367	マックスバリュ日高店内
直売所	出石農産物直売所	668-0221	豊岡市出石町町分 386-1	
直売所	浜坂農産物直売所	669-6702	美方郡新温泉町浜坂 1988	
直売所	農協の八百屋さん養父店	667-0115	養父市上箇 153-1	マックスバリュ養父店内
資材店舗	農業資材センター豊岡店	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
資材店舗	農業資材センター八鹿店	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
資材店舗	グリーンセンター和田山店	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	
店舗	地米屋	668-0032	豊岡市八社宮 490-3	ファーマーズマーケット「たじまんま」内
店舗	肉の店 本店	669-6822	美方郡新温泉町細田 160-1	
店舗	肉の店 豊岡店	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	ファーマーズマーケット「たじまんま」内
家畜市場	但馬家畜市場	667-0111	養父市大藪 1168	
畜産事業所	みかた畜産事業所	669-6808	美方郡新温泉町歌長 88	
研修施設	JA たじま八鹿研修センター	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
調理施設	キッチンたじま	668-0051	豊岡市九日市上町 550-1	本店敷地内
調理施設	港支店	669-6124	豊岡市気比 4260	
調理施設	香住支店	669-6544	美方郡香美町香住区香住 1262-14	
調理施設	浜坂支店	669-6702	美方郡新温泉町浜坂 1988	
調理施設	日高支店	669-5304	豊岡市日高町宵田 234-1	
調理施設	出石営農生活センター	668-0221	豊岡市出石町町分 386-1	
調理施設	但東支店	668-0311	豊岡市但東町出合 108-1	
調理施設	村岡支店	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2325-3	
調理施設	JA たじま八鹿研修センター	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
調理施設	朝来支店	679-3431	朝来市新井 136-1	
調理施設	JA たじま和田山キッチンスタジオ	669-5261	朝来市和田山町枚田 922-1	和田山支店併設
介護センター	豊岡介護センター	668-0844	豊岡市土淵 133-5	
介護センター	浜坂介護センター	669-6741	美方郡新温泉町七釜 678-2	
介護センター	南但介護センター	669-5251	朝来市和田山町栄町 25-1	
デイサービスセンター	豊岡東デイサービスセンター	668-0861	豊岡市大篠岡 962-2	
デイサービスセンター	七釜デイサービスセンター	669-6741	美方郡新温泉町七釜 678-2	
ショートステイ	豊岡ショートステイ	668-0861	豊岡市大篠岡 962-2	
ガス販売店	豊岡LPガス販売店	668-0854	豊岡市八社宮 490-3	
ガス販売店	村岡LPガス販売店	667-1368	美方郡香美町村岡区入江 717-5	

種 別	施 設 名	〒	住 所	備 考
農機センター	農機センター	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
旅行センター	旅行センター	668-0051	豊岡市九日市上町 550-1	

子会社の施設一覧

種 別	施 設 名	〒	住 所	備 考
(株) ジェイエイ葬祭	本社	668-0046	豊岡市立野町 16-38	
(株) ジェイエイ葬祭	メモリアルホールゆうなぎ	668-0046	豊岡市立野町 16-38	
(株) ジェイエイ葬祭	メモリアルホールゆうなぎ日高	669-5321	豊岡市日高町土居 246	
(株) ジェイ・アクロス	本社	668-0055	豊岡市昭和町 7-57	
(株) ジェイ・アクロス	豊岡セルフ給油所	668-0055	豊岡市昭和町 7-57	
(株) ジェイ・アクロス	日高セルフ給油所	669-5321	豊岡市日高町土居 184-1	
(株) ジェイ・アクロス	伊府給油所	669-5346	豊岡市日高町伊府 698-3	
(株) ジェイ・アクロス	出石セルフ給油所	668-0238	豊岡市出石町弘原 337-1	
(株) ジェイ・アクロス	出合給油所	668-0311	豊岡市但東町出合 82	
(株) ジェイ・アクロス	佐津給油所	669-6413	美方郡香美町香住区下岡 491	
(株) ジェイ・アクロス	小代給油所	667-1511	美方郡香美町小代区神水 495-2	
(株) ジェイ・アクロス	八鹿セルフ給油所	667-0024	養父市八鹿町朝倉 1141	
(株) ジェイ・アクロス	和田山セルフ給油所	669-5213	朝来市和田山町玉置 1078-3	
(株) ジェイ・アクロス	出石自動車サービスセンター	668-0238	豊岡市出石町弘原 345-3	
(株) ジェイ・アクロス	オートパルむらおか	667-1311	美方郡香美町村岡区村岡 2778-1	
(株) ジェイ・アクロス	和田山自動車センター	669-5261	朝来市和田山町枚田 526-1	
(株) ジェイエイサポート	本社	668-0011	豊岡市上陰 178-1	
(株) ジェイエイサポート	朝来営業所	679-3401	朝来市物部 1661	

9. 共済事業の委託組織の状況

(1) 代理業者数の推移

(単位：店)

項 目	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
共 済 代 理 店 数	136	4	6	134

(注) 当期増加、当期減少には、法人化に伴う増減(各2)を含んでおります。

(2) 当期新規代理店業者

	名 称	主たる事務所の所在地	代理業以外の主要業務
共済代理店	R S T S T Y L E	豊岡市出石町馬場 56-2	自動車販売会社
	株 式 会 社 US.GARAGE	豊岡市出石町宮内 230-1	自動車販売会社

10. 子会社の状況

◎貸借対照表および損益計算書は48ページに記載しています。

(1) 株式会社 ジェイエイ葬祭

(令和6年3月31日現在) (単位:名、千円)

代 表 者 名	太田垣 哲男
設 立 年 月 日	平成10年7月1日
所 在 地	豊岡市立野町16番38号
事 業 内 容	葬儀請負、霊柩運送業
施 設 の 状 況	事務所1か所、葬祭会館2か所
資 本 金 総 額 (発 行 済 株 式)	15,000(300株)
うち組合出資額 (組合保有株数)	15,000 (300株)
役 員 数	6
うち組合役員との兼職者数	5
うち組合職員との兼職者数(出向者を含む)	0
社 員 数	20
うち組合出向職員(兼職者を含む)	0

(2) 株式会社 ジェイ・アクロス

(令和6年3月31日現在) (単位:名、千円)

代 表 者 名	太田垣 哲男
設 立 年 月 日	平成11年7月15日
所 在 地	豊岡市昭和町7番57号
事 業 内 容	給油事業、自動車整備販売事業
施 設 の 状 況	事務所1か所、給油所9か所(うちセルフ給油所5か所)、 自動車整備工場3か所
資 本 金 総 額 (発 行 済 株 式)	80,000(1,600株)
うち組合出資額	80,000 (1,600株)
役 員 数	6
うち組合役員との兼職者数	5
うち組合職員との兼職者数(出向者を含む)	0
社 員 数	66
うち組合出向職員(兼職者を含む)	1

(3) 株式会社 ジェイエイサポート

(令和6年3月31日現在) (単位:名、千円)

代 表 者 名	太田垣 哲男
設 立 年 月 日	平成13年1月15日
所 在 地	豊岡市上陰178番1号
事 業 内 容	有料道路料金収受事業、相続相談事業、 清掃事業、宅建事業、一般労働者派遣事業
施 設 の 状 況	事務所2か所
資 本 金 総 額 (発 行 済 株 式)	10,000(200株)
うち組合出資額	10,000 (200株)
役 員 数	6
うち組合役員との兼職者数	5
うち組合職員との兼職者数(出向者を含む)	0
社 員 数	108
うち組合出向職員(兼職者を含む)	0

Ⅲ. 令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで) 事業報告の附属明細書

役員に対する報酬の内訳

(単位:千円)

区分	当期中の報酬支払額	総代会で定められた報酬限度額
理事	81,106	90,000
監事	15,393	17,000
合計	96,499	107,000

役員等の兼職・兼業

(当期末現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	代表権の有無	兼職先名又は兼業事業名	兼職先での役職名
代表理事組合長	太田垣 哲男	常勤	有	兵庫県農協中央会 兵庫県厚生連 全農兵庫県本部 (株)ジェイエイ葬祭 (株)ジェイ・アクロス (株)ジェイエイサポート	副会長 理事 運営委員 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長
代表理事専務	山下 正明	常勤	有	JA兵庫情報センター(株) (株)ジェイエイ葬祭 (株)ジェイ・アクロス (株)ジェイエイサポート	取締役
常務理事	西谷 浩喜	常勤	無	(株)ジェイエイ葬祭 (株)ジェイ・アクロス (株)ジェイエイサポート	取締役
常務理事	田原 良次	常勤	無	(株)ジェイエイ葬祭 (株)ジェイ・アクロス (株)ジェイエイサポート	取締役
常勤監事	福井 義彦	常勤		(株)ジェイエイ葬祭 (株)ジェイ・アクロス (株)ジェイエイサポート	監査役

役員取引の内訳

(単位:千円)

役職名	取引内容及び金額		摘要
	取引の種類	取引金額	
理事 3名	リース債権	当期取引額	4,174
		当期首残高	421
		当期末残高	3,916
		当期増減(△)額	3,495

○ 令和5年度〔令和5年4月1日から令和6年3月31日まで〕損益計算書

(たじま農業協同組合)
(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 事業総利益		(11) 利用事業収益	707,369
事業収益	10,024,875	(12) 利用事業費用	483,535
事業費用	4,746,020	利用事業総利益	223,834
(1) 信用事業収益	2,703,960	(13) 畜産事業収益	120,306
資金運用収益	2,561,956	(14) 畜産事業費用	67,364
(うち預金利息)	(1,644,154)	畜産事業総利益	52,941
(うち有価証券利息)	(117,152)	(15) 福祉事業収益	432,900
(うち貸出金利息)	(557,878)	(16) 福祉事業費用	168,413
(うちその他受入利息)	(242,771)	福祉事業総利益	264,487
役務取引等収益	86,268	(17) 旅行事業収益	12,397
その他事業直接収益	4,958	(18) 旅行事業費用	1,777
その他経常収益	50,777	旅行事業総利益	10,619
(2) 信用事業費用	644,679	(19) 指導事業収入	67,016
資金調達費用	105,045	(20) 指導事業支出	130,552
(うち貯金利息)	(99,745)	指導事業収支差額	△ 63,536
(うち給付補填備金繰入)	(1,486)	2 事業管理費	4,900,470
(うちその他支払利息)	(3,813)	(1) 人件費	3,750,442
役務取引等費用	7,295	(2) 業務費	195,116
その他経常費用	532,338	(3) 諸税負担金	248,392
(うち貸倒引当金戻入益)	(△ 19,660)	(4) 施設費	699,641
(うち貸出金償却)	(2,274)	(5) その他管理費用	6,876
信用事業総利益	2,059,280	事業利益	378,385
(3) 共済事業収益	1,835,334	3 事業外収益	427,561
共済付加収入	1,733,622	(1) 受取雑利息	21,993
その他の収益	101,712	(2) 受取出資配当金	300,159
(4) 共済事業費用	148,866	(3) 賃貸料	67,890
共済推進費	104,469	(4) 貸倒引当金戻入	592
共済保全費	38,906	(5) 償却債権取立益	374
その他の費用	5,490	(6) 助成金・還付金	6,644
(うち貸倒引当金戻入益)	(△ 20)	(7) 雑益編入	9,510
共済事業総利益	1,686,468	(8) 雑収入	20,397
(5) 購買事業収益	2,284,517	4 事業外費用	69,027
購買品供給高	2,151,949	(1) 支払雑利息	4,244
修理サービス料	27,989	(2) 寄付金	970
その他の収益	104,578	(3) 施設管理費	21,327
(6) 購買事業費用	1,746,396	(4) 施設移設費用	8,160
購買品供給原価	1,611,825	(5) 雑損失	34,324
購買供給費	19,350	経常利益	736,919
その他の費用	115,220	5 特別利益	19,369
(うち貸倒引当金繰入額)	(18,015)	(1) 固定資産処分益	16,168
(うち貸倒損失)	(45)	(2) 一般補助金	3,201
購買事業総利益	538,121	6 特別損失	126,640
(7) 販売事業収益	1,851,442	(1) 固定資産処分損	49,441
販売品販売高	1,411,686	(2) 固定資産圧縮損	2,135
販売手数料	351,939	(3) 減損損失	75,064
その他の収益	87,816	税引前当期利益	629,647
(8) 販売事業費用	1,394,262	法人税・住民税及び事業税	70,072
販売品販売原価	1,134,711	法人税等調整額	36,597
販売費	190,314	法人税等合計	106,670
その他の費用	69,236	当期剰余金	522,977
(うち貸倒引当金戻入益)	(△ 3,334)	当期首繰越剰余金	391,345
販売事業総利益	457,180		
(9) 保管事業収益	69,776		
(10) 保管事業費用	20,316		
保管事業総利益	49,459	当期末処分剰余金	914,322

令和5年度〔令和5年4月1日から令和6年3月31日まで〕貸借対照表等の附属明細書

組合員資本の内訳

(単位：千円)

種類	当期首残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高	
出資金総額	4,315,780	251,010	205,130	4,361,660	
資本準備金	1,118	—	—	1,118	
利益準備金	4,894,812	120,000	—	5,014,812	
利益剰余金 その他利益剰余金	信用事業基盤強化積立金	2,240,000	30,000	—	2,270,000
	施設設備積立金	1,350,000	80,000	—	1,430,000
	高齢者福祉対策積立金	500,000	—	—	500,000
	販売事業基盤強化積立金	460,000	20,000	—	480,000
	農業支援積立金	80,000	100,000	—	180,000
	経営基盤強化積立金	60,000	70,000	—	130,000
	特別積立金	6,171,492	50,000	—	6,221,492
	当期末処分剰余金	985,602	522,977	594,256	914,322
処分未済持分	△ 17,000	△ 25,260	△ 17,000	△ 25,260	
合計	21,041,805	1,218,727	782,386	21,478,146	

摘要：(1) 出資1口金額 10,000円

(2) 処分未済持分は任意脱退者の持分だったもので、2年間組合で保有するため△表記しています。

固定資産の内訳

(単位：千円)

種類	当期首残高	当期増加高	当期減少高 (うち当期減損損失額)	当期末残高	減価償却累計額 (うち当期償却額)	償却累計率%	
有形固定資産	建物	10,560,766	54,795	178,272 (9,133)	10,437,290	7,349,214 (188,475)	70.41%
	構築物	1,543,654	24,304	19,991 (3,318)	1,547,968	1,337,913 (40,735)	86.43%
	機械装置	2,329,554	21,927	70,990 (—)	2,280,491	2,140,185 (49,942)	93.84%
	車輛運搬具	112,220	4,270	3,085 (—)	113,405	110,105 (2,023)	97.09%
	器具備品	693,393	2,786	10,974 (121)	685,205	667,665 (9,252)	97.44%
	一括償却資産	1,926	2,088	2,210 (—)	1,804	— (2,210)	
	土地	4,563,584	—	93,663 (62,491)	4,469,921		
	リース資産	30,966	—	— (—)	30,966	27,353 (6,193)	88.33%
	建設仮勘定	—	8,217	8,217 (—)	—		
	計	19,836,067	118,389	387,403 (75,064)	19,567,053	11,632,439 (298,833)	
無形固定資産	ソフトウェア	12,664	—	6,421 (—)	6,243	— (6,421)	
	借地権	9,809	—	614 (—)	9,195	— (614)	
	水道施設利用権	1,821	366	243 (—)	1,944	— (243)	
	計	24,295	366	7,279 (—)	17,382	— (7,279)	
固定資産合計	19,860,363	118,756	394,683 (75,064)	19,584,436	11,632,439 (306,112)		

外部出資の内訳

(単位：千円)

出 資 先		当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
系 統	兵庫県信用農業協同組合連合会	15,573,055	320,000	—	15,893,055
	兵庫県厚生農業協同組合連合会	14,190	—	—	14,190
	全国農業協同組合連合会	842,453	—	—	842,453
	全国共済農業協同組合連合会	4,034,500	—	—	4,034,500
	農 林 中 央 金 庫	50,000	—	—	50,000
	計	20,514,198	320,000	—	20,834,198
系 統 外	株式 JA 兵庫情報センター(株)	1,000	—	—	1,000
	そ の 他	17,531	—	142	17,389
	そ の 他 農 業 信 用 基 金 協 会	398,670	2,970	—	401,640
	(社) 兵 庫 県 畜 産 協 会	13,530	—	—	13,530
	そ の 他	1,804	—	34	1,769
	計	432,535	2,970	176	435,329
子 会 社	株 (株) ジェイエイ葬祭	15,000	—	—	15,000
	式 (株) ジェイ・アクロス	80,000	—	—	80,000
	(株) ジェイエイサポート	10,000	—	—	10,000
	計	105,000	—	—	105,000
合 計	21,051,733	322,970	176	21,374,527	

諸引当金の内訳

(単位：千円)

種 類	当期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		当期末残高
			目的使用	そ の 他	
貸 倒 引 当 金	721,725	568,898	146,418	575,307	568,898
一般貸倒引当金	131,352	83,066		131,352	83,066
うち信用事業	119,624	76,048		119,624	76,048
うち共済事業	43	22		43	22
うち購買事業	1,461	981		1,461	981
うち販売事業	7,742	4,608		7,742	4,608
うち利用事業	94	52		94	52
うち畜産事業	924	497		924	497
うちその他事業	1,461	856		1,461	856
個別貸倒引当金	590,373	485,831	146,418	443,954	485,831
うち信用事業	577,195	454,710	146,400	430,794	454,710
うち購買事業	12,299	30,777	18	12,281	30,777
うち販売事業	315	113	—	315	113
うち利用事業	198	—	—	198	—
うち畜産事業	9	6	—	9	6
うちその他事業	355	224	—	355	224
賞 与 引 当 金	351,600	334,600	351,600	—	334,600
退 職 給 付 引 当 金	1,377,764	132,937	157,317	—	1,353,383
役員退職慰労引当金	131,419	17,433	63,781	—	85,071
合 計	2,582,509	1,053,868	719,117	575,307	2,341,953

(注) 貸倒引当金の目的使用以外の当期減少額は、洗替処理によるものです。

子会社との間の取引並びに子会社に対する債権及び債務

(1) 子会社との間の取引明細

(単位：千円)

会社名	取引内容	収益総額	費用総額	摘要
(株)ジェイエイ葬祭	信用事業	2,225	3	証書貸付金利息および貯金利息など
	共済事業	253	—	自動車共済など
	その他	1,580	743	出資配当金および花輪代金など
	計	4,059	746	
(株)ジェイ・アクロス	信用事業	4,221	1	証書貸付金利息および貯金利息など
	共済事業	465	4,023	自動車共済および取次手数料費用など
	購買事業	154	1,702	生活用品の供給および給油代金など
	その他	16,500	56,650	土地、建物賃貸借および給油代金など
	計	21,342	62,377	
(株)ジェイエイサポート	信用事業	25	177	振込手数料および貯金利息など
	共済事業	114	—	自動車共済など
	購買事業	47	392	生活用品の供給、労働者派遣費用など
	その他	2,275	36,237	土地、建物賃貸借および清掃委託費用など
	計	2,462	36,807	
合 計		27,863	99,931	

(2) 子会社に対する債権および債務

(単位：千円)

会社名	取引内容	債 権			債 務		
		当期首残高	当期末残高	当期増減高	当期首残高	当期末残高	当期増減高
(株)ジェイエイ葬祭	信用事業	150,066	120,053	△ 30,013	184,940	179,856	△ 5,083
	その他	8	8	0	—	—	—
	計	150,075	120,061	△ 30,013	184,940	179,856	△ 5,083
(株)ジェイ・アクロス	信用事業	239,007	230,352	△ 8,655	119,449	146,412	26,962
	その他	303	102	△ 201	544	499	△ 45
	計	239,311	230,454	△ 8,856	119,994	146,912	26,917
(株)ジェイエイサポート	信用事業	—	—	—	183,373	188,983	5,609
	その他	22	—	△ 22	185	—	△ 185
	計	22	—	△ 22	183,559	188,983	5,423
合 計		389,409	350,516	△ 38,892	488,494	515,752	27,257

事業管理費の内訳

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
役員報酬	96,499	租 税 公 課	128,073
給料手当	2,937,342	支 払 賦 課 金	13,650
(うち賞与引当金繰入額)	(334,600)	分 担 金	106,668
福利厚生費	564,198	諸 税 負 担 金 計	248,392
退職給付費用	132,937	減 価 償 却 費	303,870
役員退職慰労金	2,032	保 守 修 繕 費	59,601
役員退職慰労引当金繰入額	17,433	保 險 料	28,884
人 件 費 計	3,750,442	水 道 光 熱 費	97,572
会議費	5,762	賃 借 料	98,058
接待交際費	3,099	消 耗 備 品 費	8,963
宣伝広告費	4,119	車 輛 費	56,182
通信費	69,855	施 設 管 理 費	45,937
印刷・消耗品費	23,126	そ の 他 施 設 費	570
図書・研修費	17,582	施 設 費 計	699,641
業務委託費	57,035	そ の 他 管 理 費 用	6,876
旅 費	14,535		
業 務 費 計	195,116	合 計	4,900,470

○ 剰余金処分量案

(単位：円)

項 目	金 額	説 明
1. 当期末処分剰余金	914,322,996	
2. 任意積立金取崩額 (信用事業基盤強化積立金取崩)	1,000,000,000 (1,000,000,000)	
計	1,914,322,996	
3. 剰余金処分量	1,524,098,910	
(1) 利益準備金	110,000,000	当期剰余金の1/5以上積み立てる法定積立金
(2) 任意積立金 (目的積立金)	1,300,000,000 (1,250,000,000)	有価証券価格変動積立金 1,000,000 千円 施設整備積立金 70,000 千円 販売事業基盤強化積立金 20,000 千円 農業支援積立金 60,000 千円 経営基盤強化積立金 100,000 千円 将来のために積み立てるもの
(特別積立金)	(50,000,000)	
(3) 出資配当金	34,218,131	
(4) 事業分量配当金	79,880,779	
4. 次期繰越剰余金	390,224,086	

- (注) 1. 出資配当は年 0.8%の割合です。
 2. 事業分量配当金の基準は、次のとおりです。
 1) 貯金平均残高 10,000 円につき 1.5 円
 2) 貸出金利息 10,000 円につき 275 円
 3) 共済保有高 100,000 円につき 5.4 円
 3. 次期繰越剰余金には、営農指導・教育・生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 30,000 千円が含まれています。

目的積立金設定基準

(単位：千円)

積立金種類	項 目	内 容	当期末残高 (積立目標額)
信用事業基盤強化積立金	目 的	この積立金は、金利変動・価格変動・貸出金などの信用リスクに備えるなど、信用事業基盤を強化するために必要な資金を積み立てるものとする。	2,270,000
	積立目標額	貯金・定期積金総額の1000分の10を目標として積み立てるものとする。	(3,701,200)
	取崩し基準	信用事業総利益の大幅な減少(概ね前年度対比3割以上の減少又は計画対比3割以上の減少)など、信用事業に重大な影響があるという事実が発生した場合に、その減少額の50%相当額を取り崩すことができる。	
有価証券価格変動積立金	目 的	この積立金は、有価証券の大幅な市場価格の変動に備え、信用事業基盤を強化するために積み立てるものとする。	0
	積立目標額	有価証券帳簿価額の10%相当額を、積み立てるものとする。	(1,630,100)
	取崩し基準	計画した当期剰余金に対し減損損失等で20%以上の影響を与える場合は、当該損失額相当額を取り崩すことができる。	
施設整備積立金	目 的	この積立金は、現有施設等の建替え・更新、および大規模な改修・修繕・取壊し並びに処分に備え、積み立てるものとする。	1,430,000
	積立目標額	現有減価償却資産の10%相当額を積み立てるものとする。	(1,508,200)
	取崩し基準	当期減価償却費が1,000万円を超える施設等の建替え更新、または改修・修繕・取壊しに伴う支出、および固定資産処分損、減損損失が発生した場合にその相当額を取り崩すことができる。	
高齢者福祉対策積立金	目 的	この積立金は、農協の高齢者福祉対策を進めるために積み立て、その運用果実相当額をもって、高齢者福祉対策費用の一部にあてるものとする。	500,000
	積立目標額	積立金の運用果実を高齢者対策費の一部にあてるため、5億円を積み立てるものとする。	(500,000)
	取崩し基準	原則として取崩しは行わない。	
販売事業基盤強化積立金	目 的	この積立金は、自然災害や不慮の事故等による販売事業受託物へのリスクに対応し、安定した販売事業基盤を確保するために積み立てるものとする。	480,000
	積立目標額	5億円を目標として積み立てるものとする。	(500,000)
	取崩し基準	受託販売品の受託中、自然災害や不慮の事故、およびJAの共同利用施設での品質事故等により毀損し、毀損額が5,000万円以上となった場合は、その金額を上限として取り崩すことができる。	
農業支援積立金	目 的	この積立金は、農畜産物価格の著しい変動などに備え、地域農業に関わる生産振興の継続に必要な資金を積み立てるものとする。	180,000
	積立目標額	期末販売品販売高の100分の10以上を積み立てるものとする。	(617,100以上)
	取崩し基準	生産者の経営に重大な影響がある場合に、農業経営支援や地域農業に関わる生産振興の継続に向けた支援にかかるJAの負担額を取り崩すものとする。	
経営基盤強化積立金	目 的	この積立金は、大規模な臨時支出等に備え、経営基盤の強化を図るために積み立てるものとする。	130,000
	積立目標額	10億円を目標として積み立てるものとする。	(1,000,000)
	取崩し基準	会計基準の新採用や変更、社会保険制度の変更、社会情勢の急変による対策費用や事業活動の制約等により、臨時的に要した経費および合理的に見積ることのできる損失額がある場合、その相当額を取り崩すことができる。	

- (注) 1. 上記の積立金の積立基準については、毎年度の当期剰余金を参酌し、計画性のある当期積立金額を、総代会の承認を得て積み立てるものとします。
 (注) 2. 当期の高齢者福祉対策積立金運用果実相当額は3,190千円となっています。

○ 監査報告書

〈本報告書は謄本に相違ありません〉

独立監査人の監査報告書

令和6年5月27日

たじま農業協同組合
理 事 会 御中

みのり監査法人

東京都港区

指 定 社 員 公認会計士 北 川 健 二
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 安 田 智 則
業 務 執 行 社 員

〈計算書類等監査〉

監査意見

当監査法人は、農業協同組合法第37条の2第3項の規定に基づき、たじま農業協同組合の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の剰余金処分案を除く計算書類等、すなわち貸借対照表、損益計算書及び注記表並びにその附属明細書（以下、これらの監査の対象書類を「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、農業協同組合法及び同施行規則並びに我が国において一般に公正妥当と認められる会計の慣行に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、組合から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書、部門別損益計算書、事業別の明細、子会社の貸借対照表および損益計算書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等の監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者及び監事の責任

経営者の責任は、農業協同組合法及び同施行規則並びに我が国において一般に公正妥当と認められる会計の慣行に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが適切であるかどうかを評価し、農業協同組合法及び同施行規則並びに我が国において一般に公正

妥当と認められる会計の慣行に基づいて継続組合に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続組合を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組合の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組合の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、組合は継続組合として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、農業協同組合法及び同施行規則並びに我が国において一般に公正妥当と認められる会計の慣行に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<剰余金処分案に対する意見>

剰余金処分案に対する監査意見

当監査法人は、農業協同組合法第 37 条の 2 第 3 項の規定に基づき、たじま農業協同組合の令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの令和 5 年度の剰余金処分案（剰余金処分案に対する注記を含む。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の剰余金処分案が法令又は定款に適合しているものと認める。

剰余金処分案に対する経営者及び監事の責任

経営者の責任は、法令又は定款に適合した剰余金処分案を作成することにある。

監事の責任は、剰余金処分案作成における理事の職務の執行を監視することにある。

剰余金処分案に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、剰余金処分案が法令又は定款に適合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

組合と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、当組合の監事監査規程に準拠し、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査の方針、監査計画等に従い、理事、内部監査部門その他の職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

- ①理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本店・支店・事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社等については、子会社等の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社等から事業の報告を受けました。
- ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（農協法施行規則第151条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書並びに計算書類（貸借対照表、損益計算書、注記表及び剰余金処分案）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人みのり監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

令和6年5月29日

たじま農業協同組合

常 勤 監 事	福 井 義 彦
監 事	岩 井 継 郎
監 事	天 橋 徹
監 事	中 村 優
監 事	田 村 力
監 事	竹 田 修

(注) 監事 竹田 修 は、農協法第30条第14項に定める員外監事です。

以 上

監事監査実施状況を次のとおり報告します。

令和5年度 監査の実施状況

監 査 名	監査の実施日	監 査 の 対 象	日数 (日)
第1回定期監査	令和5年 10月17・18日 11月9日	内部監査の適切性・有効性の状況 コンプライアンス・リスク統括室の運営 信用事業の運営（本店） 共済事業の運営（本店） 上半期決算 支店の事業運営	3
第2回定期監査	令和6年 2月5・6・16日	内部統制システム基本方針の運用状況 総務企画部の運営 生活福祉部の事業運営 営農生産部の事業運営 畜産部の事業運営 営農生活センターの事業運営	3
第3回定期監査	令和6年 5月10・13・14日	令和5年度決算処理内容の適正性 事業報告書その他総代会提出議案の適法性 内部統制システムの有効性の評価 査定基準に基づく資産査定の妥当性 債権管理状況等、財務の健全性 各部門の事業高・損益の計画達成状況	3
日 常 監 査	年 間	事業運営全般（常勤監事）	—
購買品棚卸実査	令和5年10月2日	9月末棚卸実査	1
	令和6年4月1日	3月末棚卸実査	1
みのり監査法人 監 査 立 会	令和5年 10月11～13日 10月16・17日	期中監査（内部統制整備状況評価等）	5
	令和6年 2月19～22日	期中監査（内部統制運用状況評価等）	4
	令和6年 3月25・26日	期中監査（資産査定検証）	2
	令和6年 5月10日 5月13～16日	期末監査（決算）	5

○部門別損益計算書

(単位：千円)

区 分	計	信 用 業	共 済 業	農 業 関 連 業	生 活 其 他 業	営 農 指 導 業	共 通 管 理 費 等
事 業 収 益 ①	10,085,020	2,703,960	1,835,334	4,498,134	992,058	55,532	
事 業 費 用 ②	4,806,165	644,679	148,866	3,392,475	552,260	67,883	
事 業 総 利 益 ③ (①-②)	5,278,855	2,059,280	1,686,468	1,105,659	439,798	△ 12,351	
事 業 管 理 費 ④ (うち減価償却費) ⑤	4,900,470 (303,870)	1,507,076 (61,516)	1,160,846 (44,866)	1,388,934 (170,242)	650,050 (19,919)	193,563 (7,325)	
※うち共通管理費 ⑥ (うち減価償却費) ⑦		190,650 (9,228)	149,745 (7,248)	171,180 (8,285)	69,246 (3,351)	14,587 (706)	▲ 595,409 (▲ 28,820)
事 業 利 益 ⑧ (③-④)	378,385	552,204	525,621	△ 283,274	△ 210,252	△ 205,914	
事 業 外 収 益 ⑨	427,561	234,236	106,574	56,495	27,621	2,633	
※うち共通分 ⑩		28,409	22,314	25,508	10,318	2,173	▲ 88,723
事 業 外 費 用 ⑪	69,027	20,999	15,338	23,001	7,930	1,756	
※うち共通分 ⑫		17,282	13,574	15,517	6,277	1,322	▲ 53,973
経 常 利 益 ⑬ (⑧+⑨-⑪)	736,919	765,441	616,857	△ 249,780	△ 190,560	△ 205,038	
特 別 利 益 ⑭	19,369	5,177	4,066	7,849	1,880	396	
※うち共通分 ⑮		5,177	4,066	4,648	1,880	396	▲ 16,168
特 別 損 失 ⑯	126,640	40,550	31,850	36,409	14,728	3,102	
※うち共通分 ⑰		40,550	31,850	36,409	14,728	3,102	▲ 126,640
税 引 前 当 期 利 益 ⑱ (⑬+⑭-⑯)	629,647	730,067	589,073	△ 278,340	△ 203,408	△ 207,744	
営 農 指 導 事 業 分 配 賦 額 ⑲		80,875	66,208	43,397	17,263	▲ 207,744	
営 農 指 導 事 業 分 配 賦 後 税 引 前 当 期 利 益 ⑳ (⑱-⑲)	629,647	649,192	522,865	△ 321,738	△ 220,672		

※ 損益計算書の事業収益、事業費用については、農業協同組合法施行規則第 117 条第 1 号に従い、各事業間の内部損益を除去した額を記載しているため、①、②の「計」欄とは一致しません。

※ ⑥、⑩、⑫、⑮、⑰は、各事業に配賦した共通管理費等の額

※ △は実数、▲は配賦する数字の合計額を示しています。

(注) 1. 共通管理費等及び営農指導事業部門の他部門への配賦基準等

(1) 共通管理費等

(人頭割+人件費を除いた事業管理費割+事業総利益割)の平均値

(2) 営農指導事業

事業総利益割

2. 配賦割合(1の配賦基準で算出した配賦の割合)

区 分	信 用 事 業	共 済 事 業	農 業 関 連 事 業	生 活 其 他 事 業	営 農 指 導 事 業	計
共通管理費等	32.02%	25.15%	28.75%	11.63%	2.45%	100%
営農指導事業	38.93%	31.87%	20.89%	8.31%		100%

○ 事業別の明細

信用事業

(1) 貯金及び譲渡性貯金

(単位：千円)

種 類		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
貯 金 種 類	要求払貯金	当座貯金	669,874	674,767	658,535	657,162
		普通貯金	133,093,380	141,035,867	145,667,318	150,240,689
		貯蓄貯金	1,321,299	1,292,233	1,367,656	1,401,654
		通知貯金	—	—	—	—
		別段貯金	261,936	258,283	247,286	98,880
	計	135,346,421	143,261,152	147,940,796	152,398,387	
定期性貯金	定期貯金	226,045,369	225,802,920	221,252,189	214,212,556	
	定期積金	5,824,561	4,820,429	4,034,564	3,503,556	
	計	231,869,931	230,623,350	225,286,753	217,716,113	
譲渡性貯金		—	—	—	—	
合 計		367,216,352	373,884,503	373,227,550	370,114,500	

(2) 信用事業借入金

(単位：千円)

種 類		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
手形借入金		—	—	—	—
証書借入金		13,721	5,289	1,302	—
当座借越		—	—	—	—
計		13,721	5,289	1,302	—
借 入 先	日本政策金融公庫	9,814	2,685	—	—
	兵庫県	3,907	2,604	1,302	—

(3) 貸出金

(単位：千円)

種 類		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
貸 出 金	手形貸付金	77,885	62,325	55,765	54,105	
	証書貸付金	48,869,624	51,663,578	55,190,866	57,228,225	
	当座貸越	1,708,424	1,493,395	1,291,846	1,237,300	
	金融機関貸付金	960,000	640,000	320,000	—	
	計	51,615,934	53,859,299	56,858,478	58,519,631	
	うち農業近代化資金	1,210	2,408	5,960	4,836	
	日本政策金融公庫	10,438	2,685	—	—	
割引手形		—	—	—	—	
合 計		51,615,934	53,859,299	56,858,478	58,519,631	
貸 出 先	組 合 員	43,054,236	43,767,051	43,424,494	44,015,527	
	員 外	地方公共団体	6,376,059	8,332,627	11,969,959	13,554,517
		地方公社等	—	—	—	—
		金融機関	960,000	640,000	320,000	—
		その他員外	1,225,638	1,119,620	1,144,025	949,585
		計	8,561,698	10,092,248	13,433,984	14,504,103
合 計	51,615,934	53,859,299	56,858,478	58,519,631		

*地方公社等とは、農業協同組合法第10条第28項第1号及び第2号の規定によるいわゆる過半出資非営利法人、産業基盤整備関連法人及び生活環境整備関連法人をいう。

(4) 預金および譲渡性預金

(単位：千円)

種 類		2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	
預 金	統 系	当 座 預 金	—	—	—	—
		普 通 預 金	81,565	169,553	112,532	64,631
		通 知 預 金	—	500,000	500,000	—
		別 段 預 金	738,390	738,390	738,390	738,390
		定 期 預 金	299,020,000	301,820,000	294,990,000	285,110,000
	計	299,839,955	303,227,943	296,340,922	285,913,021	
系 統 外 預 金	2,237	1,919	488	212		
讓 渡 性 預 金		—	—	—	—	
合 計		299,842,192	303,229,863	296,341,410	285,913,233	

(5) 有価証券

(単位：千円)

種 類	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
国 債	1,114,310	979,950	1,559,885	2,791,342
地 方 債	751,670	1,278,420	2,029,750	4,745,572
政 府 保 証 債	—	123,600	116,260	309,330
金 融 債	—	—	—	—
社 債	3,286,420	4,308,790	5,869,600	7,129,020
株 式	98,539	154,942	238,186	451,498
受 益 証 券	469,629	409,550	469,777	458,464
合 計	5,720,568	7,255,253	10,283,459	15,885,228

共 済 事 業

(1) 長期共済保有高

(単位：千円)

種 類	保 有 高				
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	
生 命 総 合 共 済	終 身 共 済	436,706,588	406,802,783	381,340,697	349,841,606
	定 期 生 命 共 済	5,628,921	6,954,421	8,481,121	16,170,800
	養 老 生 命 共 済	—	63,867,164	58,019,193	49,507,884
		こ ども 共 済	31,652,337	29,806,137	28,321,637
	医 療 共 済	7,994,250	6,394,250	5,130,550	4,379,650
	が ん 共 済	1,480,500	1,426,000	1,378,000	1,333,000
	定 期 医 療 共 済	1,252,500	1,131,900	1,032,400	910,800
	介 護 共 済	4,744,540	5,632,462	5,806,264	6,722,392
	年 金 共 済	1,692,900	1,516,400	1,496,400	1,371,400
建 物 更 生 共 済	517,662,976	503,527,157	491,130,667	478,211,856	
合 計	1,048,779,260	997,252,539	953,815,294	908,449,390	
共 済 付 加 収 入	1,449,552	1,391,892	1,346,812	1,304,338	

(注) 1 保有高は保障金額（「がん共済」にあつてはがん死亡共済金額とし、「医療共済」及び「定期医療共済」にあつては死亡給付金（付加された定期特約金額等を含む。）とし、介護共済にあつては一時払介護共済の死亡共済金額とし、「年金共済」にあつては付加された定期特約金額とする。）です。

2 こども共済は養老生命共済の内書きです。

3 平成5年度以前に契約された養老生命、こども、終身、年金の各共済契約については、生命総合共済に合算して計上しています。

(2) 医療系共済の共済金額保有高

(単位：千円)

種 類	保 有 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
医 療 共 済	185,556	146,509	118,076	99,886
が ん 共 済	—	1,044,940	1,783,830	2,171,296
定 期 医 療 共 済	38,404	39,390	40,381	40,992
	4,014	3,617	3,322	2,928
合 計	227,975	189,517	161,780	143,807
	—	1,044,940	1,783,830	2,171,296

(注) 医療共済の保有高は上段に入院共済金額、下段に治療共済金額、がん共済及び定期医療共済の保有高は入院共済金額です。

(3) 介護共済・認知症共済・生活障害共済・特定重度疾病共済の共済金額保有高

(単位：千円)

種 類	保 有 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
介 護 共 済	9,015,700	9,899,641	10,019,942	11,115,235
認 知 症 共 済	—	—	438,200	658,700
生 活 障 害 共 済 (一 時 金 型)	18,150,100	24,491,700	27,125,200	29,638,800
生 活 障 害 共 済 (定 期 年 金 型)	249,340	245,360	247,700	242,100
特 定 重 度 疾 病 共 済	1,880,400	2,955,300	3,598,000	4,189,600

(注) 介護共済の保有高は介護共済金額、認知症共済の保有高は認知症共済金額、生活障害共済の保有高は生活障害共済金額または生活障害年金年額、特定重度疾病共済の保有高は特定重度疾病共済金額です。

(4) 年金共済の年金保有高

(単位：千円)

種 類	保 有 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
年 金 開 始 前	9,460,437	9,396,800	9,403,073	9,295,355
年 金 開 始 後	3,465,911	3,426,690	3,431,956	3,478,358
合 計	12,926,349	12,823,491	12,835,030	12,773,714

(注) 保有高は年金年額(予定利率変動型年金にあつては、最低保証年金額)です。

(5) 短期共済新契約高(掛金)

(単位：千円)

種 類	新 契 約 高 (掛 金)							
	2 年 度		3 年 度		4 年 度		5 年 度	
火 災 共 済	6,619件	75,792	6,594件	75,278	6,495件	73,680	6,479件	74,323
自 動 車 共 済	33,716件	1,524,178	33,794件	1,520,967	33,628件	1,495,563	33,449件	1,498,951
傷 害 共 済	15,540件	33,383	16,915件	31,732	19,918件	30,220	20,849件	28,428
定 額 定 期	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
賠 償 責 任 共 済	578件	1,079	465件	843	409件	817	379件	848
自 倍 責 共 済	15,161件	308,588	15,238件	291,845	15,486件	294,023	15,324件	262,017
合 計	71,614件	1,943,023	73,006件	1,920,666	75,936件	1,894,304	76,480件	1,864,570
共 済 付 加 収 入		432,848		433,379		432,636		429,284

(注) 「賠償責任共済」欄は、農業者賠償責任共済を合算して計上しています。

購 買 事 業

購買品供給・取扱実績

(単位：千円)

種 類	供 給 ・ 取 扱 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
肥 料	648,803	631,907	738,428	681,880
農 薬	371,564	348,826	307,121	310,425
生 産 資 材	395,572	365,310	355,565	337,273
農 機	312,708	298,616	277,582	332,441
畜 産 資 材	340,692	397,073	484,116	398,665
計	2,069,342	2,041,734	2,162,814	2,060,686
生 活 用 品	140,121	135,104	126,342	138,789
L P G	480,105	540,672	518,358	489,753
計	620,226	675,777	644,700	628,542
合 計	2,689,569	2,717,512	2,807,515	2,689,229

販 売 事 業

(1) 受託販売品取扱実績

(単位：千円)

種 類	取 扱 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
米 麦 類 (うち直接販売以外の取扱分)	2,572,516 (1,832,669)	2,679,216 (2,045,886)	2,494,791 (1,900,913)	2,516,182 (1,904,029)
青 果 類	516,606	442,525	467,714	471,283
果 実 類	36,349	37,455	43,332	50,379
菌 茸 類	19,289	16,574	16,120	14,448
特 産 類	57,152	47,999	53,303	85,098
豆 類	48,583	47,975	38,426	26,277
朝 市 類	56,086	56,254	54,901	54,277
畜 産 類	2,182,414	2,263,034	2,134,443	2,455,640
フ ァ ー マ ー ズ	464,602	457,611	490,754	497,832
合 計	5,953,600	6,048,648	5,793,789	6,171,420

(2) 買取販売品販売実績

(単位：千円)

種 類	販 売 高			
	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度
直 売 米	992,567	849,405	775,474	817,451
フ ァ ー マ ー ズ	235,036	249,586	225,458	225,520
肉 の 店	330,649	323,874	372,790	368,714
合 計	1,558,253	1,422,866	1,373,723	1,411,686

子会社の貸借対照表及び損益計算書

1 株式会社ジェイエイ葬祭

【貸借対照表】

令和6年3月31日現在 (単位:千円)

資 産		負 債・純 資 産	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	180,158	買掛金	12,826
売上債権	23,781	その他流動負債	25,343
貸倒引当金	△ 804	流動負債計	38,169
棚卸資産	3,678	長期借入金	120,000
その他流動資産	11,600	その他固定負債	17,945
流動資産計	218,414	固定負債計	137,945
減価償却資産	616,918	負債合計	176,114
減価償却累計額	△ 338,791	資本金	15,000
土地	4,079	利益準備金	3,750
無形固定資産	697	任意積立金	287,000
投資等	33,086	当期末処分利益金	59,862
固定資産計	315,991	(うち当期純利益)	(24,460)
繰延税金資産計	7,321	純資産合計	365,612
資産合計	541,726	負債及び純資産合計	541,726

【損益計算書】

令和5年4月1日～令和6年3月31日
(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	366,231
売上原価	139,090
売上総利益	227,140
販売費・一般管理費	192,277
営業利益	34,862
営業外収益	3,263
営業外費用	4,008
経常利益	34,118
特別利益	-
特別損失	0
税引前純利益	34,118
法人税・住民税等	10,041
法人税等調整額	△ 382
当期純利益	24,460
前期繰越利益	35,402
当期末処分利益	59,862

2 株式会社ジェイ・アクロス

【貸借対照表】

令和6年3月31日現在 (単位:千円)

資 産		負 債・純 資 産	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	164,804	買掛金	163,969
売上債権	143,997	その他流動負債	61,075
貸倒引当金	△ 2,572	流動負債計	225,045
棚卸資産	58,944	長期借入金	229,000
その他流動資産	15,830	その他固定負債	21,200
流動資産計	381,004	固定負債計	250,200
減価償却資産	655,468	負債合計	475,245
減価償却累計額	△ 381,194	資本金	80,000
土地	115,722	利益準備金	20,000
無形固定資産	165	任意積立金	119,707
投資等	10,750	当期末処分利益金	91,509
固定資産計	400,912	(うち当期純利益)	(20,367)
繰延資産計	4,546	純資産合計	311,217
資産合計	786,463	負債及び純資産合計	786,463

【損益計算書】

令和5年4月1日～令和6年3月31日
(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	2,234,805
売上原価	1,799,448
売上総利益	435,357
販売費・一般管理費	418,649
営業利益	16,708
営業外収益	4,489
営業外費用	3,339
経常利益	17,858
特別利益	473
特別損失	10
税引前純利益	18,321
法人税・住民税等	2,500
法人税等調整額	△ 4,546
当期純利益	20,367
前期繰越利益	71,141
当期末処分利益	91,509

3 株式会社ジェイエイサポート

【貸借対照表】

令和6年3月31日現在 (単位:千円)

資 産		負 債・純 資 産	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	191,837	その他流動負債	35,334
棚卸資産	-	流動負債計	35,334
その他流動資産	26,751	その他固定負債	12,014
流動資産計	218,588	固定負債計	12,014
減価償却資産	1,428	負債合計	47,348
減価償却累計額	△ 1,428	資本金	10,000
無形固定資産	-	利益準備金	1,200
投資等	650	任意積立金	68,000
固定資産計	650	当期末処分利益金	92,690
繰延資産計	-	(うち当期純利益)	(6,006)
資産合計	219,238	純資産合計	171,890
		負債及び純資産合計	219,238

【損益計算書】

令和5年4月1日～令和6年3月31日
(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	313,071
売上原価	-
売上総利益	313,071
販売費・一般管理費	308,486
営業利益	4,584
営業外収益	2,436
営業外費用	-
経常利益	7,021
特別利益	-
特別損失	-
税引前純利益	7,021
法人税・住民税等	1,015
当期純利益	6,006
前期繰越利益	86,683
当期末処分利益	92,690

○ 令和6年度事業計画書

I. 基本方針

JAグループでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組み、JAたじまにおいても、中期計画をそのプログラムと位置づけ、組合員とともに実践してきました。

JAたじまでは農業や地域に対するこれまでの方針を継承しつつ、組合員や事業を取り巻く環境変化への対応や、持続可能な経営に向けた自己改革を継続的にすすめます。

令和6年度は中期計画Plan2024・経営改善計画の最終年度となります。4年間の集大成として、掲げた目標の達成を目指します。

また、組合員の声を聴きながら、現中期計画から得た課題や但馬地域の農業情勢等を踏まえた次期中期計画の検討を開始します。

事業面では、組合員とともに、但馬の農業の強みである環境に配慮した米づくりの普及・拡大や、但馬地域ならではの特産物の生産拡大に取り組みます。

また、直売所やインターネット販売など、幅広いチャネルを通じた販売や、予約購買の推進、農業施設の利用拡大による生産コストの低減を通じて、農業者の所得増大に取り組みます。

経営面では、一層の健全経営に向けた経営基盤の確立に取り組むほか、段階的に支店と営農生活センターの一体化運営を開始し、サービス面、運営面で新たな総合事業のメリット創出に取り組みます。

また、「食と農」を軸とした情報発信や、地域に根差した組織として他組織・企業との連携を通じた様々な手法で、但馬の魅力ある農産物の振興と地域活性化に取り組みます。

II. 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み

米、たじまピーマン、朝倉さんしょを重点品目として、収量・品質の向上、農業経営の支援を目指した営農指導と多様な担い手への支援、栽培面積の維持・拡大を通じた営農振興に取り組みます。

また、JAたじまの強みを活かした有利販売やファーマーズマーケットを軸にした地産地消の取り組みなど、販売力強化による農業者の所得増大を目指します。

【主な数値計画】

項 目	令和5年度計画	令和5年度実績	令和6年度計画
契約栽培米比率	80.0%	86.0%	80.0%
極早生多収穫米収量／10a	600 kg	425.6 kg	600 kg
JA集荷量	370,000 袋	314,539 袋	360,000 袋
コウトリ育むお米(有機JAS・無農薬)集荷数量	20,000 袋	15,111 袋	20,000 袋
たじまピーマン収量／本	6.6 kg	5.2 kg	6.0 kg
ピーマン選果施設荷受量	750 t	561.7 t	750 t
ピーマン作付本数	120,900 本	106,653 本	125,000 本
朝倉さんしょ販売数量	24.0 t	17.4 t	24.0 t
大納言小豆作付面積	40.0 ha	30.0 ha	30.0 ha
カントリーエレベーター・ライスセンター利用	5,700 t	4,947 t	5,700 t
水稻育苗	480,000 箱	470,625 箱	465,000 箱
GH農場評価制度実践	1 組織 16 農家	1 組織 17 農家	8 組織 17 農家
Z-GIS(※)の普及	25 農家	33 農家	30 農家
大容量貯留ビン貸出数	6 件	4 件	10 件
ファーマーズマーケット委託販売	4 億 9,000 万円	5 億 0,552 万円	5 億 1,000 万円
たじまま新規出荷者数(豊岡・和田山合計)	120 人	51 人	120 人
たじまま地元野菜定期配送先(飲食店向け)	8 件	8 件	10 件
農業融資(アグリマイティー資金)	2 億 5,000 万円	5 億 2,595 万円	2 億 7,000 万円

※ Z-GIS …… 全農によるクラウドを活用した電子圃場管理システムです。

Ⅲ. 事業方針および事業実施計画

営農事業の活動

(1) 事業方針

みどりの食料システム戦略の先駆的取り組みとして培った環境創造型農業を柱に、但馬のブランド力を総合的に発揮した営農振興に取り組みます。

営農指導では、営農相談員をエリア担当制とし、米と特産品の総合的な営農指導体制を目指すなど、相談業務の拡充と生産拡大に取り組みます。

また、生産コストを反映した農産物の適正な価格形成の実現に向けた販売展開や、スケールメリットを活かした生産資材高騰対策などによる農家所得の向上に取り組みます。

(2) 活動計画

お米の振興

- ①魅力ある米づくり、消費者から求められる米づくりを基本として「コウノトリ育むお米」「ふるさと但馬米」「つちかおり米」など環境に配慮した高付加価値の米や「蛇紋岩米」「みかた棚田米」など地域の特色を活かした契約栽培米の作付けに取り組みます。
- ②需要に応じた酒造好適米の作付けにより、酒米産地の維持をはかります。
- ③豊岡市内の学校給食で使用するお米をすべて無農薬栽培米で提供するため「つきあかり（無農薬）」の作付拡大に取り組みます。
- ④コウノトリ育むお米の背景にある環境創造型農業のストーリーや、有機農業の生産拡大に向けた取り組みなど、高付加価値の米として魅力を消費者へPRし、販売先に対して積極的な価格の交渉を行います。
- ⑤温室効果ガス排出低減に向け、秋耕耘を推奨し、環境負荷低減効果の高い米づくりに取り組みます。
- ⑥生産者と消費者をつなぐ架け橋として、農業体験や生きもの調査などの交流会を開催し、産地の魅力を発信します。
- ⑦ライスセンターの施設再編に向けて検討を始めます。

特産物の振興

- ①関西一のピーマン産地として収量増加による価格安定を目指すため、病気などに強く、安定した収量が見込める接ぎ木苗の供給量を増やします。
- ②高い需要が見込まれる朝倉さんしょは、関係機関と協力して栽培技術向上と作付け拡大に取り組みます。
- ③大納言小豆や黒大豆、岩津ねぎなど、但馬各地で地域ごとの特色を活かして栽培される品目について、販売先の需要量に対応できるよう生産振興に取り組みます。

営農指導・営農支援

- ①米の高温障害対策として、土づくり、深耕、効果的な追肥の施用などの指導・情報提供に取り組みます。
- ②LINEを利用して気象・病害虫・最新技術等リアルタイムな情報発信を行うことで、収量増加に向けた栽培技術の向上に取り組みます。

- ③施肥の適正化をはかるため、但馬各地で水稻を中心に土壌分析を実施し、分析結果から作成した土壌マップをもとに、施肥設計の見直しと個別指導を行います。
- ④生産部会を中心とした栽培講習会を開催し、栽培技術・品質向上に取り組みます。
- ⑤たじまんまと営農生活センターが連携し、「直売所主要野菜」の作付提案や栽培講習会を開催するなど、たじまんまへの出荷量と出荷品目の増加に取り組みます。
- ⑥生産者の労働力支援に向けて、農福連携や、派遣会社など関係者との連携による支援体制づくりに取り組みます。

利用事業・購買事業

- ①このとりカントリーエレベーター、ライスセンターの持ち込み時に使用するフレコンの無料貸し出しや、荷受重量に応じた利用還元施策の実施により、施設利用メリットを発揮します。
- ②大規模農家に向けて、乾燥調製作業の削減による作業効率向上を目的として、このとりカントリーエレベーターの乾燥用大容量貯留ビン（1基50t）の貸出を行います。
- ③生産資材の価格高騰による農家の負担軽減をはかるため、予約購買による一括仕入れを活かした資材の低価格化や、大型規格資材の提案、その他の利用奨励施策により、購買利用のメリットを最大化して生産コストの低減に取り組みます。
- ④農機事業は全農との一体化運営を活かし、サービスの向上と生産コストの低減に向けた低価格モデル機種を提案を行います。
- ⑤国産原料・地産地消商品を中心に安全・安心な食料品やくらしの商品をお届けする「くらしの宅配便」をインターネット受付に移行し、地域住民にもご利用いただけるようPRします。

みどりの食料システム戦略

- ①食品安全や環境保全などにつながるGAP（※1）への取り組みが求められる中、GH農場評価制度（※2）の実践拡大に継続的に取り組みます。
- ②マイクロプラスチック問題に配慮した元肥一発肥料へ転換するため、銘柄集約・変更に向けて取り組みます。
- ③国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、補助事業の活用など関係機関と連携して、継続的に取り組みます。
- ④生産工程で温室効果ガス削減に貢献した農産物に星印を付ける農林水産省の「三ツ星ラベル」（※3）の取り組みに参加し、消費者に環境負荷低減の取り組みを積極的にPRします。

※1 GAP……農業生産工程管理。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の仕組みです。

※2 GH農場評価制度……グリーンハーベスター農場評価制度。GAP規範をどの程度満たしているかを評価するためのシステムです。

※3 三ツ星ラベル……農業由来の温室効果ガスの排出削減率を可視化する農林水産省の取り組み。化学農薬・肥料の低減などにより排出削減に貢献した農産物に星印のラベルを貼付し、消費者へ環境負荷低減の取り組み周知と、生産コストへの理解ある行動を促す取り組みです。

たじまんまの活動

- ①農業者の所得増大につながる地産地消の主要施設として、直売所の活性化をはかります。
- ②消費者にとってより魅力ある店舗となるため、出荷者との協力体制を強化し安全・安心な地元農産物の品揃えの充実に取り組みます。

- ③但馬全域から出荷いただけるようJAたじま管内を巡る集荷ルート便の周知をはかり、但馬各地の農産物・加工品の品揃えを充実します。
- ④但馬最大の花売り場を目指し、花卉の栽培講習会を開催するなど、生産者の増加に取り組みます。
- ⑤全国各地のJAと連携した品揃えの充実に取り組みます。また、但馬の農畜産物を他JAで販売して認知度向上・販売拡大に取り組みます。
- ⑥たじまんまオンラインショップをはじめ複数のインターネット販売サイトを活用し、但馬の農畜産物を全国の消費者にお届けします。
- ⑦各種イベントの実施やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による旬の農産物の情報をタイムリーに発信します。
- ⑧但馬内の市町と連携し、ふるさと納税の返礼品として但馬牛^{びゅう}など特産品の販売に取り組みます。

但馬牛^{びゅう}のブランドを高める肉の店

- ①畜産農家の技術と品質の高さを発信して但馬牛^{びゅう}の知名度向上につとめ、消費拡大を目指します。
- ②但馬牛産地の知名度を高め、畜産農家の生産意識向上をはかるため、全国に向けたインターネット販売を強化します。

畜産事業の活動

(1) 事業方針

但馬牛の産地維持・活性化に向けて、牛の健全な育成指導により、但馬牛ブランドの向上につとめます。さらに積極的に増頭対策に取り組み、畜産農家の所得向上を目指します。

また、但馬牛の主産地として、各生産部会・行政・関係機関との連携をはかり、優良種牛の改良・育種の取り組みをすすめるとともに、子牛価格の維持対策として、県内・県外の購買者の誘致活動を行い、市場の活性化に取り組みます。

(2) 活動計画

畜産振興

- ①但馬家畜市場の安定運営につとめます。
- ②子牛の出場頭数の増加に伴い、新たに6月の子牛市を開催します。
- ③健全な飼養管理と牛伝染性リンパ腫排除対策などを徹底し、但馬家畜市場の一層の評価向上に取り組みます。
- ④畜産農家の経営支援策として、兵庫県・(公社)兵庫県畜産協会・(公社)全国和牛登録協会兵庫県支部と連携し、各種補助事業を活用した支援対策に取り組みます。
- ⑤但馬牛の増頭対策として、行政や関係機関との連携、各種増頭補助金制度や預託制度の活用に取り組みます。

- ⑥子牛品評会の開催や第106回兵庫県畜産共進会での上位入賞を目指して、優良牛の育成に取り組みます。
- ⑦但馬広域営農団地運営協議会とともに「耕畜連携」の仕組みづくりの研究を継続してすすめます。

【主な数値計画】

項 目	令和5年度計画	令和5年度実績	令和6年度計画
但馬牛飼養頭数	4,160頭	4,133頭	4,160頭
子牛販売高	17億1,192万円	17億2,045万円	17億0,710万円
肥育牛販売高	4億2,900万円	7億0,632万円	4億5,700万円

(3) 事業計画

(単位：千円、%)

	種 類	令和5年度計画 (A)	令和5年度実績	令和6年度計画 (B)	計画対比 (B)/(A)
受 託 販 売	米 麦 類	2,597,000	2,516,182	2,603,500	100.25
	青 果 類	568,800	471,283	573,200	100.77
	果 実 類	39,900	50,379	39,900	100.00
	菌 茸 類	23,000	14,448	23,100	100.43
	特 産 類	54,300	85,098	90,500	166.66
	豆 類	56,500	26,277	52,800	93.45
	朝 市 類	57,500	54,277	50,500	87.82
	畜 産 類	2,180,170	2,455,640	2,164,100	99.26
	ファーマーズマーケット	490,000	497,832	510,000	104.08
	合 計	6,067,170	6,171,420	6,107,600	100.66
買 取 販 売	直 売 米	922,500	817,451	842,500	91.32
	ファーマーズマーケット	253,000	225,520	261,000	103.16
	肉 の 店	300,000	368,714	315,000	105.00
	合 計	1,475,500	1,411,686	1,418,500	96.13
購 買 品 供 給 ・ 購 買 品 取 扱	肥 料	753,800	681,880	755,000	100.15
	農 薬	303,500	310,425	304,000	100.16
	生 産 資 材	400,000	337,273	400,000	100.00
	農 機	279,000	332,441	279,000	100.00
	畜 産 資 材	390,000	398,665	345,000	88.46
	合 計	2,126,300	2,060,686	2,083,000	97.96

福祉・経済・生活事業の活動

(1) 事業方針

福祉事業では、「人として、その人らしく生きる力を応援します」を基本理念として活動を行い、利用者や利用者家族に寄り添うサービスを提供します。

経済・生活事業では、安全で安心な商品の提案・提供を通じて、組合員や利用者、そのご家族の豊かなくらしをサポートします。

(2) 活動計画

くらしに安心を与える福祉事業

- ①利用者や利用者家族が安心して利用できる介護サービスを提供します。
- ②デイサービスやショートステイでは、利用者が笑顔で楽しく過ごせるよう、季節感のあるレクリエーションの実施や、敷地内の農園で栽培した食材を使用した食事の提供など、JAならではの施設運営に取り組みます。
- ③介護保険制度ではカバーできない利用者ニーズに応えるために、「JAたじま高齢者生活支援事業」によるJA独自の生活支援サービスを行います。
- ④介護職員の技術向上など人材育成につとめ、更なるサービスの向上に取り組みます。

安心で環境にやさしいLPガス事業

- ①利用者のみなさんが安心してガスを利用していただけるよう、ガス供給設備やガス器具の保安点検・保安調査を実施します。
- ②ガスを安全に使用していただくため、高齢者利用世帯を訪問してガス器具の点検を実施する「シルバーサポート活動」を行います。
- ③燃費のよいガス給湯器やガス衣類乾燥機の情報提供など、省エネで快適なくらしの提案に取り組みます。

旅行事業・健康管理事業

- ①JAの次世代ファンづくりの取り組みとして、小学生を対象とした旅行を企画します。
- ②年金友の会旅行などJA各事業に密着した旅行の提案につとめるほか、各世代のニーズに対応した旅行を計画します。
- ③「町ぐるみ健診」「特定健診」を支援し、組合員や地域住民の健康管理をサポートします。

(3) 事業計画

(単位：千円、%)

	種 類	令和5年度計画(A)	令和5年度実績	令和6年度計画(B)	計画対比 (B)/(A)
福 社	訪 問 介 護	3,600 人	3,436 人	3,650 人	101.38
	居 宅 介 護	4,700 人	4,585 人	4,600 人	97.87
	通 所 介 護	15,000 人	15,020 人	15,400 人	102.66
	短期入所生活介護	6,600 人	5,065 人	6,700 人	101.51
	高 齢 者 生 活 支 援	270 人	190 人	270 人	100.00
	旅 行	160,000	167,153	160,000	100.00
取 供 購 扱 給 買	生 活 用 品	129,500	138,789	129,500	100.00
	L P ガ ス	525,890	489,753	511,300	97.22

※福祉事業の計画数値は延利用人数目標です。

信用事業の活動

(1) 事業方針

幅広い年齢層の組合員・利用者のニーズに応えられるよう、職員の知識とコミュニケーション能力を高め、きめ細やかな提案・相談活動のほか、お手続きのデジタル化への支援を通じて、地域農業の振興と豊かなくらしづくりに貢献します。

(2) 活動計画

よりよい農業経営に向けた経営相談・農業融資

- ① 農業者の所得増大に貢献するため、融資担当者とTACが連携した経営相談・提案活動に取り組みます。
- ② 農業者のメインバンクとして、低利な営農関係資金の提供につとめ、多様な農業者・担い手・集落営農組織等の農業経営を支援します。

くらしに寄り添うJA貯金・JAローン

- ① 組合員・利用者の安心でゆとりあるくらしをサポートするため、各種貯金や投資信託による資産形成を提案します。
- ② 利用しやすい教育ローンやマイカーローンの提供に取り組みます。
- ③ 三大疾病保障付住宅ローンなど、組合員・利用者の多様なニーズに対応した住宅ローンを提供します。

便利でお得なサービス

- ①パソコンやスマートフォンを利用して振込や照会ができる便利な「JAネットバンク」やスマートフォンから口座残高や入出金明細などがリアルタイムに確認できる「JAバンクアプリ」を提供します。
- ②年金友の会会員向けサービスとして、年金定期貯金や誕生日・喜寿・米寿のプレゼント、現金宅配サービスを実施するほか、協賛店舗・施設で利用可能な割引クーポンを配布します。
- ③JAたじまで給与・年金を受け取りされる方および統一ローン利用者を対象に、ゆうちょ銀行・コンビニ3社のATM手数料とインターネットバンキング手数料を月5回まで無料化します。
- ④JAカードでの支払いで、たじまんま（豊岡）の買い物代金5%割引やJA-SSでの給油代金支払いで2円/L割引など、JAバンクサービスを実施します。
- ⑤ATMでの即時振り込みや通帳繰越、暗証番号の変更など、便利なサービスを提供します。
- ⑥投資信託のネット取引や統一ローンのWeb申し込み受付など非対面取引を拡充し、利便性の向上に取り組みます。

充実の相談活動と安心なつながりづくり

- ①住宅ローンやマイカーローンなどの各種ローンについて、より気軽に相談できるよう、ローンプラザ（豊岡・和田山）は日曜日も営業します。
- ②TA（トータルアドバイザー）による組合員・利用者の資産状況を踏まえた総合的な提案、相続相談活動を実施します。
- ③CA（コンサルティングアドバイザー）による新NISAを活用した資産形成・資産運用の提案活動を実施します。
- ④農中信託銀行と提携し、相続や税務等の相談機能を拡充します。
- ⑤年金友の会の活動を通じて、会員相互の交流や仲間づくりの輪を広げます。
- ⑥振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺未然防止を目的に「声かけ運動」を実施し、特殊詐欺撲滅に取り組みます。

(3) 事業計画

(単位：千円、%)

	種 類	令和5年度計画(A)	令和5年度実績	令和6年度計画(B)	計画対比 (B)/(A)
貯金	当 座 性	148,337,000	152,398,387	152,810,000	103.02
	定 期 性	225,891,000	217,716,113	218,304,500	96.64
	合 計	374,228,000	370,114,500	371,114,500	99.17
	借 入 金	—	—	—	—
貸出金	手 形	54,000	54,105	54,000	100.00
	証 書	55,495,000	57,228,225	57,718,000	104.01
	当 座 貸 越	1,310,000	1,237,300	1,248,000	95.27
	合 計	56,859,000	58,519,631	59,020,000	103.80
預金	系 統 内	292,467,000	285,913,021	281,493,000	96.25
	系 統 外	2,000	212	1,500	75.00
	合 計	292,469,000	285,913,233	281,494,500	96.25
	有 価 証 券	15,500,000	15,885,228	21,200,000	136.77

共済事業の活動

(1) 事業方針

社会環境が日々変化する中、組合員、地域住民の自然災害や日常生活における多様なリスクを軽減するための保障ニーズに応えるため、3Q訪問活動を通じた「ひと・いえ・くるま・農業リスク」の総合保障を提供し、安心と満足をお届けします。

(2) 活動計画

長期共済

- ① 共済加入者世帯に共済金請求漏れ等がないように「3Q訪問活動」を積極的に行います。
- ② 組合員・利用者へ公的保障等の情報提供を徹底し、医療基盤保障「医療系・生活障害・特定重度疾病共済」、生命万一保障「終身・養老・定期生命・こども共済」、長寿保障「介護・認知症・年金共済」の生命系保障の普及拡大につとめるとともに、ライフプランに添った保障の見直しを提案します。
- ③ 自然災害の発生リスクに備えて、建物更生共済「むてきプラス」「My家財プラス」の普及に取り組みます。
- ④ タブレット端末を使用し、より分かりやすい提案活動に取り組むとともに、ペーパーレス・キャッシュレス手続きによる迅速かつ安全な事務処理につとめます。

短期共済

- ① 営農事業部門と連携し、農業リスクを包括的に保障する農業者賠償責任共済の普及活動に取り組み、農業経営の安定化に貢献できる提案活動を実施します。
- ② 農業者向け保障拡充の観点から、自動車共済に農業用自動車も含めたレッカー・ロード費用保障条項を新設します。
- ③ 車両諸費用保障特約の保障拡充等を行い、自動車共済の普及拡大と保障内容の充実につとめます。
- ④ 共済代理店と連携し、自動車・自賠責共済の普及拡大に積極的取り組みます。
- ⑤ 「但馬サービスオフィス」を拠点に高い専門性を持ったスタッフが自動車損害調査を行い、信頼される事故対応につとめます。
- ⑥ JA共済商品の補完として、共栄火災損害保険の商品の取り扱いを強化し、より充実した保障の提案に取り組みます。

相談・対応機能の向上

- ① Webマイページ・JA共済アプリの登録・活用を促進し、組合員・利用者の利便性向上に取り組みます。
- ② 顧問弁護士による無料交通事故相談を実施します。
- ③ タブレット端末を活用した罹災現場での損害調査など、大規模自然災害発生時でも速やかに対応できる損害調査体制を拡充します。

(3) 事業計画

① 長期・自動車共済普及推進活動目標（新契約）

(単位：ポイント)

項 目		令和5年度計画	令和5年度実績	令和6年度計画
長期・自動車共済新契約目標(長期共済・自動車共済の合計)		12,500,000	12,248,865	11,000,000
重点施策(新規)目標(注)	生 命 統 一	4,334,000	4,495,633	3,794,640
	建物更生共済新規	1,418,400	2,149,778	1,422,990
	自動車共済新規	1,563,675	2,149,060	1,769,050

(注1) 重点施策（新規）目標は、長期・自動車共済新契約目標の内枠目標です。

(注2) 生命統一とは、終身（一時払含む）、養老生命、こども、定期生命（逓減期間設定型含む）および死亡保障系特約、医療、がん、生活障害、特定重度疾病、介護、認知症、年金共済を対象としています。

② 短期共済新契約高

(単位：千円、%)

種 類	令和5年度計画(A)	令和5年度実績	令和6年度計画(B)	計 画 対 比 (B)/(A)
火 災 共 済	77,000	74,323	77,000	100.00
自 動 車 共 済	1,490,000	1,498,951	1,500,000	100.67
傷 害 共 済	30,000	28,428	30,000	100.00
自 賠 責 共 済	15,000件	15,324件	15,000件	100.00

③ 共栄火災

(単位：千円、%)

種 類	令和5年度計画(A)	令和5年度実績	令和6年度計画(B)	計 画 対 比 (B)/(A)
共 栄 火 災	7,000	7,686	7,000	100.00

広報・教育・組織活動

(1) 事業方針

将来にわたって但馬地域とJAたじまが元気であるよう、「食と農」を切り口とした、積極的な広報活動や食農・地域貢献活動を行い、組合員や地域住民、世代や地域を超えて、但馬地域やJAたじまのファンづくりに取り組みます。

(2) 活動計画

広報活動

- ①「リレーション+(プラス)」(※)を奇数月に発行し、組合員や地域住民に向けて、広くJAの取り組みを発信します。
- ②ホームページやSNSへの投稿など、JAの情報をタイムリーに発信します。
- ③日本農業新聞への記事投稿、他マスメディアに対するプレスリリースなどを積極的に行い、但馬の内外に向けて地域の農業や食、JAの取り組みを発信します。

※リレーション+(プラス) …… 令和6年1月から、JAたじまの取り組みを地域向けに発信するため、組合員限定で配付していた「リレーション」を新聞折込向けに変更した広報紙です。

教育・学習の活動

- ①小学生(3～6年)を対象にした「あぐりキッズスクール(日高会場・温泉会場)」の開催や、小中学校への出張授業、未就学児を対象にした収穫体験活動など、地域の子どもたちに向けた食農教育活動に取り組みます。
- ②食農教育や環境保全教育を積極的に展開する管内小学校へ活動費の一部を助成し、応援します。
- ③「JAたじま杯」として、野球・サッカー・卓球・バレーボールなどのスポーツ大会に協賛し、子どもたちや地域住民の健康な体づくり、仲間づくりを応援します。
- ④「家の光」を活用した料理教室や、小学生(1～4年)を対象に、「ちゃぐりん」を活用した「ちゃぐりんフェスタ」など、但馬地域の農畜産物を食材に使用した食農教育のイベントを開催し、地産地消の大切さを伝えます。

組織活動

- ①支店や営農生活センターを拠点にした地域ふれあい活動を通じて、地域の活性化や地域貢献活動に取り組みます。
- ②組合員サービスのデジタル化への支援として全支店でスマホ教室を開催します。
- ③JAの調理施設(キッチンたじま・和田山キッチンスタジオ)を活用して、地域の子育て世代を対象に、料理教室「スマイルクッキング」を開催し、食と農の大切さを発信します。
- ④未就学児親子などを対象にした料理教室「ママ友クラブ」を開催し、新たなJAファンづくりに取り組みます。
- ⑤たじまJA女性会が取り組む地域貢献活動や、自主的な活動を支援します。

多様な組合員の意見を反映したJA運営

(1) 方針

農業者の高齢化による正組合員の減少、准組合員比率の増加など、組合員の構成・ニーズが多様化している中、役職員が様々な場面に出向き、正組合員、准組合員との対話を通じて、いただいた意見を適切にJA運営・事業に反映し、地域に根ざしたJAを目指します。

(2) 活動計画

- ① 組合員の幅広い声に応えるよう、CA・住宅専任涉外、TACの活動とともに、支店長や営農生活センター長、総合涉外や営農相談員など、専門知識を持った職員による訪問活動に取り組みます。
- ② 組合員の声を広く聴くため、常勤理事が農協委員会や准組合員も出席する地域ふれあい委員会へ参加するとともに、広報紙・ホームページ・SNSの活用をすすめます。
- ③ 組合員の相談内容に適切に対応できるよう、JA職員としての成長を目的とした研修会を階層別を実施します。
- ④ 組合員からの多様化する相談内容に適切な対応ができるJA職員の育成を目的として、階層別の研修会を実施します。
- ⑤ 参集者を総代に限定した「地区別総代懇談会」をブロック単位で開催し、総代に向けたJA方針の説明や意見交換を充実します。

【主な実施計画】

項 目	令和5年度計画	令和5年度実績	令和6年度計画
地 域 ふ れ あ い 委 員 会	46 回	64 回	46 回
地 区 別 総 代 懇 談 会	6 会場	6 会場	6 会場
地 区 農 協 委 員 会	110 回	55 回	110 回
地 区 代 表 農 協 委 員 会	3 回	3 回	3 回

JAの経営基盤の確立・強化

(1) 方針

JAの組織基盤の確立・強化を目指して、業務効率化や組合員サービスの向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）の促進や各種システムの検証をおこないます。

また、中期的な収支シミュレーションを踏まえて、持続可能な収益性や将来にわたるJA経営の健全性の確保に取り組みます。

地域に根差した組織の社会的責任として、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献に取り組みます。

(2) 活動計画

- ①さらなる営農振興と経営基盤強化に向けて、令和7年度から令和9年度の3か年を目標年次とした次期中期計画を検討します。
- ②業務効率化を目指して、各種システムの導入・普及の検証を行います。
- ③たじまんまを含む周辺エリアを新たな「食と農の拠点」と位置づけ、次の10年も継続的に発展・活性化していくための再開発構想の検討を開始します。
- ④築年数が経過した施設について、施設近隣のエリア状況や利用状況等を踏まえた整備をすすめます。
- ⑤支店を中心とした総合事業メリットのさらなる発揮に向けて、令和6年度から支店・営農生活センターの一体化運営を段階的に実施します。
- ⑥財務の健全化に向けた出資金の維持運動、地域の人口動向を踏まえた組合員数の確保に向けた組合員加入運動をすすめるとともに、相続発生時に組合員資格・出資金を次世代に継承いただけるよう取り組みます。
- ⑦業務の実施状況や管理体制の適切性を検証し、問題点・不具合の指摘にとどまらず、本店統括部門の連携強化をはかり事務の堅確性向上に取り組みます。
- ⑧多様で高度化する組合員の相談内容に対応するため、職員の更なる質的向上を目的とした研修会を階層別を実施します。
- ⑨不祥事を未然に防止するため、コンプライアンス勉強会や臨店指導を行い、法令等の遵守を徹底します。
- ⑩JJエリアセンター但馬（※）と連携して、「但馬に来てもらう」「但馬の農業を体験してもらう」など、但馬地域の魅力を活かした人流・商流の活性化に取り組みます。
- ⑪将来の新たな事業利用者の獲得や地域に根差した組織としての役割を果たすため、他組織・企業と連携して地域の活性化に取り組みます。

※令和5年3月に、たじま農業協同組合・(株)農協観光・日本航空(株)で地域活性化を目的にパートナーシップ協定を締結し、JAたじま内に活動拠点を設置しています。

Ⅲ. 財務計画

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 純 資 産	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 信用事業資産	364,119,100	1 信用事業負債	372,136,500
(1) 現 金	700,000	(1) 貯 金	371,114,500
(2) 預 金	281,494,500	(2) 譲 渡 性 貯 金	0
系 統 預 金	281,493,000	(3) 借 入 金	0
系 統 外 預 金	1,500	(4) その他の信用事業負債	1,022,000
(3) 有 価 証 券	21,200,000	未 払 費 用	49,500
(4) 貸 出 金	59,020,000	そ の 他 の 負 債	972,500
(5) その他の信用事業資産	2,235,400	2 共済事業負債	882,400
未 収 収 益	88,700	(1) 共 済 資 金	236,700
そ の 他 の 資 産	2,146,700	(2) 未経過共済付加収入	615,900
(6) 貸倒引当金(控除)	△ 530,800	(3) 共 済 未 払 費 用	11,400
2 共済事業資産	14,800	(4) その他の共済事業負債	18,400
(1) その他の共済事業資産	14,900	3 経済事業負債	2,160,300
(2) 貸倒引当金(控除)	△ 100	(1) 支 払 手 形	0
3 経済事業資産	4,361,500	(2) 経済事業未払金	479,300
(1) 受 取 手 形	0	(3) 経済受託債務	1,374,100
(2) 経済事業未収金	985,500	(4) その他の経済事業負債	306,900
(3) 経済受託債権	2,428,100	4 設備借入金	0
(4) 棚 卸 資 産	364,100	5 雑 負 債	415,200
購 買 品	169,400	(1) 未 払 法 人 税	21,500
販 売 品	69,500	(2) 資産除去債務	100,800
諸 材 料	122,900	(3) その他の債務	292,900
その他の棚卸資産	2,300	6 諸 引 当 金	1,722,900
(5) その他の経済事業資産	621,100	(1) 賞 与 引 当 金	334,600
(6) 貸倒引当金(控除)	△ 37,300	(2) 退職給付引当金	1,284,600
4 雑 資 産	557,400	(3) 役員退職慰労引当金	103,700
(1) 雑 資 産	558,200	負 債 の 部 合 計	377,317,300
(2) 貸倒引当金(控除)	△ 800	1 組 合 員 資 本	21,632,700
5 固 定 資 産	7,842,400	(1) 出 資 金	4,377,980
(1) 有形固定資産	7,810,900	(2) 資 本 準 備 金	1,120
建 物	10,664,500	(3) 利 益 剰 余 金	17,278,900
機 械 装 置	2,306,100	利 益 準 備 金	5,124,800
土 地	4,293,400	目 的 積 立 金	5,240,000
リ ー ス 資 産	0	特 別 積 立 金	6,271,500
その他の有形固定資産	2,388,700	当 期 未 処 分 剰 余 金	642,600
減価償却累計額(控除)	△ 11,841,800	(うち当期剰余金)	(252,100)
(2) 無形固定資産	31,500	(4) 処 分 未 済 持 分	△ 25,300
6 外 部 出 資	21,374,500	2 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
(1) 外 部 出 資	21,374,500	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	0
(2) 外部出資等損失引当金(控除)	0		
7 繰延税金資産	680,300	純 資 産 の 部 合 計	21,632,700
資 産 の 部 合 計	398,950,000	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	398,950,000

IV. 損益計画

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1.事業総利益	5,015,530	(11) 利用事業収益	744,010
(1) 信用事業収益	2,715,000	(12) 利用事業費用	484,530
資金運用収益	2,565,160	利用事業総利益	259,480
(うち預金利息)	(1,620,600)	(13) 畜産事業収益	116,530
(うち有価証券利息)	(178,400)	(14) 畜産事業費用	67,450
(うち貸出金利息)	(556,000)	畜産事業総利益	49,080
(うちその他受入利息)	(210,160)	(15) 福祉事業収益	452,120
役務取引等収益	83,000	(16) 福祉事業費用	170,090
その他事業直接収益	8,000	福祉事業総利益	282,030
その他経常収益	58,840	(17) 旅行事業収益	12,770
(2) 信用事業費用	794,000	(18) 旅行事業費用	2,560
資金調達費用	169,500	旅行事業総利益	10,210
(うち貯金利息)	(162,600)	(19) 指導事業収入	76,680
(うち給付補填備金繰入)	(2,400)	(20) 指導事業支出	169,910
(うち借入金利息)	(0)	指導事業収支差額	△ 93,230
(うちその他支払利息)	(4,500)	2.事業管理費	4,908,610
役務取引等費用	9,000	(1) 人件費	3,753,210
その他事業直接費用	1,000	(2) 業務費	205,530
その他経常費用	614,500	(3) 諸税負担金	253,960
信用事業総利益	1,921,000	(4) 施設費	688,910
(3) 共済事業収益	1,732,600	(5) その他管理費用	7,000
共済付加収入	1,652,400	事業利益	106,920
その他の収益	80,200	3.事業外収益	426,510
(4) 共済事業費用	174,800	(1) 受取雑利息	20,840
共済推進費	125,850	(2) 受取出資配当金	301,860
共済保全費	43,900	(3) 賃貸料	66,240
その他の費用	5,050	(4) 償却債権取立益	30
共済事業総利益	1,557,800	(5) 雑収入	37,540
(5) 購買事業収益	2,353,200	4.事業外費用	140,290
購買品供給高	2,242,670	(1) 支払雑利息	4,340
修理サービス料	36,000	(2) 寄付金	1,100
その他の収益	74,530	(3) 施設管理費	21,200
(6) 購買事業費用	1,808,680	(4) 雑損失	113,650
購買品供給原価	1,679,990	経常利益	393,140
購買供給費	18,960	5.特別利益	79,350
その他の費用	109,730	(1) 固定資産処分益	74,200
購買事業総利益	544,520	(2) 一般補助金	5,150
(7) 販売事業収益	1,902,300	6.特別損失	160,710
販売品販売高	1,445,000	(1) 固定資産処分損	160,710
販売手数料	363,570	(2) 固定資産圧縮損	0
その他の収益	93,730	税引前当期利益	311,780
(8) 販売事業費用	1,458,660	法人税・住民税及び事業税	42,300
販売品販売原価	1,179,550	法人税等調整額	17,380
販売費	198,400	法人税等合計	59,680
その他の費用	80,710	当期剰余金	252,100
販売事業総利益	443,640	当期首繰越剰余金	390,500
(9) 保管事業収益	73,100	目的積立金取崩額	0
(10) 保管事業費用	32,100		
保管事業総利益	41,000	当期末処分剰余金	642,600

V. 事業管理費および固定資産投資計画

事業管理費の計画

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
役員報酬	107,000	租 税 公 課	133,630
給料手当	2,934,000	支払賦課金	13,700
(うち賞与引当金繰入)	(334,600)	分 担 金	106,630
福利厚生費	566,270	諸税負担金計	253,960
退職給付費用	127,240	減価償却費	282,080
役員退職慰労金	—	保守修繕費	58,780
役員退職慰労引当金繰入	18,700	保 険 料	28,900
人 件 費 計	3,753,210	水道光熱費	102,860
会議費	6,500	賃 借 料	95,500
接待交際費	3,650	消耗備品費	17,350
宣伝広告費	4,770	車 輛 費	58,100
通信費	74,670	施設管理費	45,280
印刷・消耗品費	19,320	その他施設費	60
図書・研修費	17,420	施設費計	688,910
業務委託費	59,700	その他管理費用	7,000
旅 費	19,500		
業 務 費 計	205,530	合 計	4,908,610

固定資産投資計画

(単位：千円)

区 分	施 設 名	金 額
固 定 資 産	営農畜産関連施設改修・装置更新等	97,360
	施設・支店空調更新等	33,280
	本店施設改修・システム更新	333,320
リ ー ス	営農関連備品取得・システム更新	47,910
	施設・支店関連備品取得・端末機更新	202,570
	公用車更新	61,500
合 計		775,940

○ 定款の変更について

第3号議案 定款の変更について

1. 変更の理由

根拠法令の改正に伴う変更

刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年法律第56号）により所要の変更を行う。

2. 新旧対照表

新 旧 対 照 表

新	旧
<p>(役員の欠格事由)</p> <p>第30条 次に掲げる者は、役員となることができない。</p> <p>1～6 (略)</p> <p>7 前2号に掲げる者以外の者であって、<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。ただし、刑の執行猶予中の者はこの限りでない。</p> <p>(略)</p> <p>(総会の議決事項)</p> <p>第40条 次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。</p> <p>1～16 (略)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>17 組合員の除名</p> <p>18 前各号に定めるもののほか総会において必要と認めた事項</p> <p>(略)</p> <p>(総会の特別議決事項)</p> <p>第46条 次の事項は、正組合員の半数以上が出席し、その出席者の半数以上が第12条第2項の規定による正組合員である場合において、その出席者の議決権の3分の2以上の多数による議決を必要とする。</p> <p>1～5 (略)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>6 農業の経営を行う法人に係る株式の取得、出資又は出えんであって、当該法人の</p>	<p>(役員の欠格事由)</p> <p>第30条 次に掲げる者は、役員となることができない。</p> <p>1～6 (略)</p> <p>7 前2号に掲げる者以外の者であって、<u>禁錮</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。ただし、刑の執行猶予中の者はこの限りでない。</p> <p>(略)</p> <p>(総会の議決事項)</p> <p>第40条 次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。</p> <p>1～16 (略)</p> <p>17 <u>農業協同組合連合会が行う農業の経営に対して同意すること</u></p> <p>18 組合員の除名</p> <p>19 前各号に定めるもののほか総会において必要と認めた事項</p> <p>(略)</p> <p>(総会の特別議決事項)</p> <p>第46条 次の事項は、正組合員の半数以上が出席し、その出席者の半数以上が第12条第2項の規定による正組合員である場合において、その出席者の議決権の3分の2以上の多数による議決を必要とする。</p> <p>1～5 (略)</p> <p>6 <u>農業協同組合連合会が行う農業の経営に対して同意すること</u></p> <p>7 農業の経営を行う法人に係る株式の取得、出資又は出えんであって、当該法人の</p>

新	旧
<p>議決権の過半を占めることとなるもの</p> <p><u>7</u> 共済契約に係る法第 11 条の 52 に規定する契約条件の変更</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>(略)</p> <p>附 則 (令和 6 年 6 月 22 日)</p> <p><u>1</u> この定款の変更は、行政庁の認可を受けた日から効力を生ずる。</p> <p><u>2</u> 前項の規定にかかわらず、第 30 条の変更は、「<u>刑法等の一部を改正する法律 (令和 4 年法律第 67 号)</u>」の施行日 (令和 7 年 6 月 1 日) から効力を生ずる。</p>	<p>議決権の過半を占めることとなるもの</p> <p><u>8</u> 共済契約に係る法第 11 条の 52 に規定する契約条件の変更</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>(略)</p> <p><u>(追加)</u></p>

○ 定款の変更について

第4号議案 定款附属書総代選挙規程の変更について

1. 変更の理由

根拠法令の改正等に伴う変更

刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）、総代選挙における総代の住所揭示の簡素化に伴い、所要の変更を行う。

2. 新旧対照表

新 旧 対 照 表

新	旧
<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第1条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 前号に掲げる者以外の者であって、<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。ただし、刑の執行猶予中の者はこの限りでない。</p> <p>(略)</p> <p>(選挙区等)</p> <p>第3条 総代の選挙は、選挙区ごとに行う。</p> <p>② (略)</p> <p>③ 各選挙区の総代の半数以上は、この組合の定款第12条第2項各号に該当する正組合員でなければならない。</p> <p>④ 正組合員は、その住所を有する選挙区において投票権を有する。ただし、この組合の地区外に住所を有する正組合員は、その者が最も多くの耕作地（<u>農用地利用集積等促進計画</u>の定めるところにより賃借権、使用貸借による権利又は経営受託権の設定を行った土地を含む。）を有する選挙区において投票権を有する。</p> <p>(略)</p> <p>(候補者)</p> <p>第5条 正組合員でなければ、総代に立候補し、又は総代の候補者を推せんすることができない。</p> <p>②～③ (略)</p> <p>④ この組合は、前2項の規定により、この組合に届け出て総代の候補者となった者（以下</p>	<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第1条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 前号に掲げる者以外の者であって、<u>禁錮</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。ただし、刑の執行猶予中の者はこの限りでない。</p> <p>(略)</p> <p>(選挙区等)</p> <p>第3条 総代の選挙は、選挙区ごとに行う。</p> <p>② (略)</p> <p>③ 各選挙区の総代の半数以上は、この組合の定款第12条第2項第1号又は第2号に該当する正組合員でなければならない。</p> <p>④ 正組合員は、その住所を有する選挙区において投票権を有する。ただし、この組合の地区外に住所を有する正組合員は、その者が最も多くの耕作地（<u>農用地利用集積計画</u>の定めるところにより利用権の設定を行った土地を含む。）を有する選挙区において投票権を有する。</p> <p>(略)</p> <p>(候補者)</p> <p>第5条 正組合員でなければ、総代に立候補し、又は総代の候補者を推せんすることができない。</p> <p>②～③ (略)</p> <p>④ この組合は、前2項の規定により、この組合に届け出て総代の候補者となった者（以下</p>

新	旧
<p>「総代の候補者」という。)の<u>選挙区</u>、氏名及び立候補又は被推せんの別を、選挙期日の前日までに組合の掲示場に掲示し、かつ、選挙の当日投票所に掲示するものとする。</p> <p>(略)</p> <p>(無効投票)</p> <p>第17条 次の各号に掲げる投票は、無効とする。</p> <p>1 (略)</p> <p>2 総代の候補者の氏名のほか、他事を記載したもの(職業、社会的地位、<u>選挙区</u>又は敬称の類を記入したものを除く。)</p> <p>(略)</p> <p>(当選の通知等)</p> <p>第19条 当選人が定まったときは、選挙管理者は、直ちに当選人に当選の旨を通知し、同時に当選人の<u>選挙区</u>及び氏名を組合の掲示場に掲示しなければならない。</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>(略)</p> <p>附 則 (令和6年6月22日)</p> <p>1 この定款附属書総代選挙規程の変更は、<u>行政庁の認可を受けた日から効力を生ずる。</u></p> <p>2 前項の規定にかかわらず、第1条の変更は、<u>「刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号)」の施行日(令和7年6月1日)から効力を生ずる。</u></p>	<p>「総代の候補者」という。)の<u>住所</u>、氏名及び立候補又は被推せんの別を、選挙期日の前日までに組合の掲示場に掲示し、かつ、選挙の当日投票所に掲示するものとする。</p> <p>(略)</p> <p>(無効投票)</p> <p>第17条 次の各号に掲げる投票は、無効とする。</p> <p>1 (略)</p> <p>2 総代の候補者の氏名のほか、他事を記載したもの(職業、社会的地位、<u>住所</u>又は敬称の類を記入したものを除く。)</p> <p>(略)</p> <p>(当選の通知等)</p> <p>第19条 当選人が定まったときは、選挙管理者は、直ちに当選人に当選の旨を通知し、同時に当選人の<u>住所</u>及び氏名を組合の掲示場に掲示しなければならない。</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>(略)</p> <p>(追加)</p>

○ 報告事項 2

J A たじま 自己改革の取り組み状況（協同活動ハイライト）

J A たじまでは、中期計画 Plan2024 を自己改革プログラムと位置づけ、持続的な地域農業の維持・振興と暮らしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業を通じた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組みました。

令和 5 年度の主な取り組みと実績を報告します。

I 多様な担い手農家の所得増大

取組事項	具体的施策	取組状況・実績
販売の安定と拡大に向けた販路・販売チャネルの拡充	卸と結びついた契約栽培米の取り組み拡大	出荷契約数量 377,780 袋 うち契約栽培米 325,016 袋 (86.0%・前年対比 +2.1ポイント)
	インターネット販売の拡大	インターネット販売高 1 億 0,434 万円 (前年対比 119.8%)
たじまピーマンの生産拡大と所得の向上	ピーマン作付本数拡大	作付本数 106,653 本 (前年対比 101.3%)
	売り先が決まった契約取引の拡大	契約的販売 18.3% (前年対比 +1.5 ポイント) 販売高 (全量) 2 億 2,319 万円 (前年対比 119.4%)
朝倉さんしょの販売拡大	市場ニーズを踏まえた販売展開	販売数量 17.4 t (前年対比 108.0%) 販売高 6,907 万円 (前年対比 172.8%)
予約購買のメリット最大化	スケールメリット拡大に向けた資材銘柄の集約	初中期一発除草剤の特別栽培・慣行栽培の一本化 水稻除草剤の集約
	大型規格農薬の導入促進	利用人数 125 名 (前年対比 +34 名) 面積換算 1,003ha (前年対比 104.4%)
たじまんまの集客力強化と販売高向上	魅力ある店づくりによる集約力強化	たじまんま 来店客数 (レジ通過者) 30 万 5,112 人 (前年対比 99.7%) ※豊岡のみの来店客数
	品揃えの拡充による販売高向上	たじまんま 総売上高 8 億 5,511 万円 (前年対比 103.4%) たじまんま和田山 出荷品売上高 1 億 1,490 万円 (前年対比 104.8%)
畜産農家の経営支援	販路拡張による購買者の誘致	令和 5 年但馬家畜市場子牛平均価格 (税込) ・ (市場全体) 79 万 7,190 円 (前年対比 101.4%) (全国 2 位) ・ (但馬管内) 84 万 9,696 円 (前年対比 108.4%)
	特別価格での飼料供給	越冬用乾燥牧草供給高 5,563 万円

II. 持続可能な農業への支援

取組事項	具体的施策	取組状況・実績
環境に配慮した「環境創造型」米づくりの拡大	コウホリ育むお米(無農薬)の作付推進	【有機JAS・無農薬】 集荷数量 15,111 袋 (前年対比 106.5%)
	学校給食への無農薬栽培米の提供拡大	【無農薬つきあかり】 集荷数量 948 袋
スマート農業の推進による作業効率の向上	Z-GIS の普及促進	利用者数 33 名 (前年対比 +5 名)
	ドローン防除の拡大	水稲利用 558ha (前年対比 116.7%)

III. 地域の生活インフラを担う JA としてのサービス展開

取組事項	具体的施策	取組状況・実績
利便性向上に向けた IT 化・非対面取引の拡充	JA ネットバンクの普及拡大	年間契約実績 946 件 (計画対比 109%)
次世代層への魅力的な商品の提供	iDeCo・つみたてNISA の普及拡大	合計契約件数 655 件 (前年対比 256.8%)
組合員・利用者のニーズに応えるきめ細やかなサービスの提供	住宅ローン・小口ローンの提供	住宅ローン貸出実績 30 億 5,955 万円 (計画対比 113.2%) 小口ローン貸出実績 11 億 6,773 万円 (計画対比 116.0%)
	低利な農業融資の提供	アグリマイティー資金貸出実績 5 億 2,595 万円 (計画対比 210.3%)

IV. 組合員の参画拡大・メンバーシップ向上

取組事項	具体的施策	取組状況・実績
組合員の参加・参画による組織活動の向上	地域活性化につながる地域貢献活動の実施	244 件実施 (農業体験、清掃活動、健康増進活動等)
食と農の活動を通じた次世代層ファンづくり	子育て世代(未就学児の保護者)を対象としたママ友クラブの開催	12 回実施 187 名参加
	あぐりキッズスクールの開催	豊岡会場 7 回 村岡会場 7 回

JA たじま還元・助成施策実績

《営農振興支援（助成等）実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	実績
営農経営継続への支援	予約注文による特別割引	52,876
担い手農家助成	水稻育苗利用助成	10,613
	CE・RC 利用助成	10,794
	肥料・農薬費用助成	10,923
	ピーマン選果施設利用料助成	2,114
生産振興	ICT 導入支援等	118
	資材店舗での購入金額に応じたポイント還元	2,245
合計		126,780

※上記のほか、国が創設した「化学肥料低減定着対策事業」の窓口として事務手続きを支援しました。

《利用者還元実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	実績
直売所活性化	たじままでの購入金額に応じたポイント還元	6,521

《畜産振興支援（助成等）実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	実績
畜産経営継続への支援	予約注文による特別割引（越冬用乾燥牧草）	7,102
経営支援	配合飼料代等助成	3,150
遺伝的多様性の確保	熊波系・城崎系保留助成	1,050
家畜伝染病対策	消毒液無償配布	228
合計		11,530

《組合員活動支援（助成等）実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	実績
生活文化活動支援	女性会活動等助成	3,711
健康管理支援	町ぐるみ健診費用助成	1,903
組合員活動支援	地域ふれあい活動等助成 (地域貢献活動・地域活性化活動)	6,902
合計		12,516

○ たじま農業協同組合第10期総代名簿

任期：令和4年4月27日～令和7年4月26日

令和6年6月22日現在

(豊岡地区)	橋本 拓己	秋和千代子	井津 智子	後垣 徹	中村 孝子	大垣 好美
22名	植村 俊秋	太田 克己	辻 萬兵衛	清水 猛	田中 昭一	芝地 政伸
北倉 清志	蜂須賀三郎	岡本 邦夫	依田 廣志	原本 龍喜	和藤 達也	竹下 勝明
久保 昇三	大伴 幸子	伊地智 涉	能登 文男	西川真知子	飯田あや子	國谷 佳弘
村尾 道久	西谷 直樹	村尾 妙子	谷岡東洋晴	岸本 晃	田沼 徹	中川 正幸
池田 尋子	岩本 正義	齋藤 晋	岩崎 浩三	馬場 幸男	水口 卓也	村尾 恭一
坂本 昇造	岩戸 君夫		坂本 博行	谷口 晴美	西村 哲也	中嶋 敏博
西田 勝美	宮下 和代	(港地区)	藤原 誠	濱田 洋一	片山 宏智	仲川しげ子
西田 利広	嶋田 正樹	9名	藤原 光芳	山西健八郎	宮垣 憲次	榮次 慶一
小松 繁俊	細間 義博	谷岡 滋雄	福井 昭一		吉村 元美	榮次 洋子
今井 栄美	西 ひとみ	宮田 索	藤井 茂子	(日高地区)	大田垣 智	川口 弘之
沖村 綾子	田結莊靖彦	岸本智恵美	林 広子	60名	宮根 安子	廣井 英二
樋口 良治	安居 幸雄	絹本 實		江尻 繁	田中 聡	坪井 俊親
河本加津美	安井 政美	島 しげ子	(香住地区)	吉谷 明	坂口美知子	立脇 英喜
友田 和徳	西垣 富夫	中井 清幸	36名	足立 政隆	岡村 芳宏	井本美代子
伊地智美知子	田中 恵	清水 浩次	山本 勝昭	立花 明子	飯田 隆吉	中嶋 幾夫
啜 雅年	井川 栄治	岡本 善弘	北村 宏明	松岡 裕二	山口 守	南北 英男
中西 昭浩	阪井 達夫	宮代 正芳	安田 義明	寺坂 邦男	西田いづみ	河本 澄
加藤 裕			米田由紀子	井垣 和之	田中 明彦	田中 均
三宅 修治	(豊岡南地区)	(城崎地区)	秋山 雄作	吉谷 久子	尾崎 正昭	宮木 恵子
大廣 義昭	27名	10名	山盛 和義	木多見幸一	赤江 和子	
霜澤 良雄	永川伸一郎	中井 博文	三上 博章	木下 敬一	谷垣 久則	(但東地区)
大木小夜子	野澤矢代美	尾崎 敏治	沼田 昌三	稲葉 恵由	栃尾 節子	26名
河本 嘉一	古川 栄治	岩本 安利	安田 幸治	北村 忠夫	安藤 毅	奥谷 岳己
	寺谷 利夫	田中 君枝	森浦 繁	北村 明美	松田 堅次	浮田 一之
(豊岡北地区)	上田 悟	山本 弘	藤原 恵子	木多見正行	吉田 強	堀江 敏子
33名	松井 栄作	垣谷 昇	柳本 博保	吉田 繁義	西垣 高美	野世 恒弘
松井 盛彦	岡 いづみ	中家 敏行	濱戸 孝行	戸田 博之	渡辺 芳博	松岡 英治
船木しげ子	橋本 直人	杉本 敬子	稲垣 伸一	森本 陸夫	松井 正志	武知 成子
三谷 壽洋	今井 繁夫	浦瀧 敏郎	濱戸 幸雄	尾藤 直美	藤原 重利	多根 久雄
中田 昭榮	丸岡 文子	秦 一郎	小林 一也	新田 章夫		京川 妙子
森田 俊一	藤本 英治		福嶋 眞治	中野 良夫	(出石地区)	宮田 茂
土肥 和美	森垣 輝巳	(竹野地区)	名須 博	中野 孝治	29名	永井 盛雄
二位 益美	河口 紀之	20名	吉田 弘子	小中 清美	西野 清	桑田 均
岡谷 邦人	長砂 典子	長岡 紀雄	前田 精一	上倉 和正	旗谷 仁志	松本 貞之
藤岡 祐喜	藤田あやめ	溝口 明美	中村 道子	小坂 義博	高岡 千文	小山 哲哉
安居 進	藤原 秀樹	清水 宏之	池田 元継	間狩 綱志	久木田誠市	木村 昭彦
福井 正人	立脇 紘子	土生田 悟	日下部東三	白箸 智巳	井谷 孝生	田口 邦彦
上坂 君子	榎垣助治郎	岡田 宏	谷脇 勝之	一幡 義弘	中島 恒子	栗垣 正枝
中奥 彰	澤邊 豊	古保 博之	吉川 正人	森垣 眞悟	寺田 幸弘	井上 育雄
岸田 敏	関岡 章次	山根 秀次	福井 守	藤本新太郎	田邊あゆみ	井地 一郎
吉田 眞弓	黒田 敏夫	田中 裕行	原 君枝	藤本 利幸	田中 克己	小畑 忠夫

佐古善次郎
本田 邦夫
羽尻 和美
永井 孝志
野村 憲治
中西 志延
澤田 彰子

(村岡地区)
28名

中村 彰男
中村 久雄
池口 千春
今岡 博文
小林 洋子
輪違 利明
福井 正之
前田 義夫
中村 智子
白岩恵美子
西谷 崇弘
北垣 孝義
山本 薫
田野 豊博
西崎 武志
森 吉見
黒田志津代
山本 公昭
石井 宏
田中 宗一
田淵 洋一
岸本のぶ子
中村 京子
向谷てるみ
丸山 満行
中山 實
北村 純市
山本 昇

(美方地区)
13名

井上 雅喜
吉田 市郎
中村 毅徳

田淵 正一
田淵もとえ
吉田 増夫
本上 眞一
小林 義富
太田垣 修
瓜ヶ平美津子
毛戸 誠
井二 正
前田 悦子

(温泉地区)
32名

中村 眞一
田中 睦子
中野 秀男
西村喜代治
大深 勝正
岡村 英和
重本 和子
岸 洋志
松元けい子
大江 保廣
左右田哲夫
岡 明彦
中村 俊彦
竹下千江子
岸根 利幸
赤坂 裕司
坂本みちよ
岡田 美昭
高美 治
坂本 優
山本 昭代
村尾 秀一
村尾 伸子
中村 茂
竹中 道明
西脇 毅
田畑 修
尾崎栄太郎
太田 信明
山村 亨
山村 貞二

馬場 昌美
(浜坂地区)
29名

松岡 忠雄
田中 勝之
仲山 厚美
田中 敏嗣
山本 清
田中 定美
高木 克則
丸山 茂義
山崎 勇二
山根千壽子
田中 寿春
宮脇恵美子
島田 昭弘
仲田 博美
丸谷 貞富
西村 輝久
城戸 智明
杉本 健二
石原 勝義
高西美智子
谷口 正友
尾崎 弘典
水田 則嗣
岡本 清子
谷口 浩恵
田村 保
西川 光治
田中 良明
清水 寿博

(八鹿地区)
34名

福田 富喜
村尾 勝
小林 秀敏
町田 豊
河原 宏明
岡坂美恵子
西本 信吾
広瀬知津代

濱 清己
井上喜太郎
小林 幸弘
森本 啓一
上田 高
中島 忠司
植木 茂子
川本 哲夫
内田 卓雄
村上 秀夫
上田ゆう子
松田 貢
田原 政春
竹内 由美
川瀬 信夫
三宅 洋子
中島 保
山下 孝弘
藤原 幸代
齋藤 高代
岡地 章寛
池田 修
木下由美子
池田喜代子
宿南営農組合
伊木 範雄

(養父地区)
34名

吉村 英之
雑賀 学
山本 弘幸
足立 一雄
高島 文栄
生田 豊
藤本浩一郎
藤本 淳子
生田 治幸
雑賀 洋正
田村 隆巳
田村 裕雄
政次 悟
橋本 直光
田路 昇

岡田一二三
尾崎 安雄
田村 寿英
田原 一弘
片岡 徳彰
藤原美恵子
高階 康之
北山 典雄
北山 靖子
岡山 恵三
上田るり子
進元 毅
城下 正
成田 伸一
村上 英司
田村 正宏
北尾 春美
西垣 通利
藤原 隆弘

(大屋地区)
19名

栗田 一夫
藤岡 勝子
藤本 彌一
向 慶一
三方 正志
千葉 和夫
上垣 秋夫
藤原 偉則
正垣 吉規
正垣富美代
正垣 稔
八木 正夫
谷岡 穂好
高階 典一
上垣 重雄
上垣久美子
中尾登美夫
井原 耕一
安達 博之

(関宮地区)
20名

西谷 満
五島 清和
瀬原 達夫
東垣 淳子
藤林 良清
中尾 悟郎
栃下 弘
濱田 房子
中尾 勝美
片田 博
宮田 英夫
岡崎 重光
上田 英和
西村 陸男
西谷 慶子
田淵 幸一
山本 隆喜
田淵 治
長村 勝
三輪恵美子

(生野地区)
8名

奥藤 司
白瀧 喜作
白瀧早知子
花尾 定義
寺前 信龍
小路 英雄
山野 水鶴
千葉 良子

(朝来地区)
25名

荒川 桂一
松尾真理子
中田 正憲
椿野ひとみ
谷元 誠
山田 卓己
山田 耕一
北垣 利晃
米田 義和
杉谷 渡

荒川 一吉
赤曾部忠明
荒川 安子
中島 修
石橋 葉子
越中 進
戸田 一幸
小谷 三郎
伊藤 孝
池野 常夫
森田 淳子
中島 浩之
山本 健次
黒田 均
足立 隆

(和田山地区)
48名

藤原 章弘
吉田香緒里
梶原 泰輔
西垣 道明
橋本 喜義
藤本 寿
片岡 行男
松本 昌幸
稲田 優
民部 武司
原田 昌二
大西 光子
中村 正康
平石 秀樹
篠岡 利子
太田 保
嘉門 登
山本 勝郎
戸井ふさ子
早川 和男
藤原 昌善
夜久三喜雄
畠山 純
上道 博明
夜久 桂逸
足立美根子

石田	誠	松岡	京子
和田	典子	勝山	茂
茂上	清司	坪井	良尚
伊達	康裕	垣尾	源明
野崎	武司		
齊藤	和枝		
森田	諭	男性	452名
雜賀	忠文	女性	132名
平岡	浩人	法人	1団体
森下	精一	合計	585名
小谷	秀樹		
小川	高行		
吉井	節子		
藤原	五郎		
大槻	悟		
長野	久志		
石山	義宣		
天野	正樹		
和田	浩二		
長野	吉明		
藤原	克己		
西尾	ひとみ		

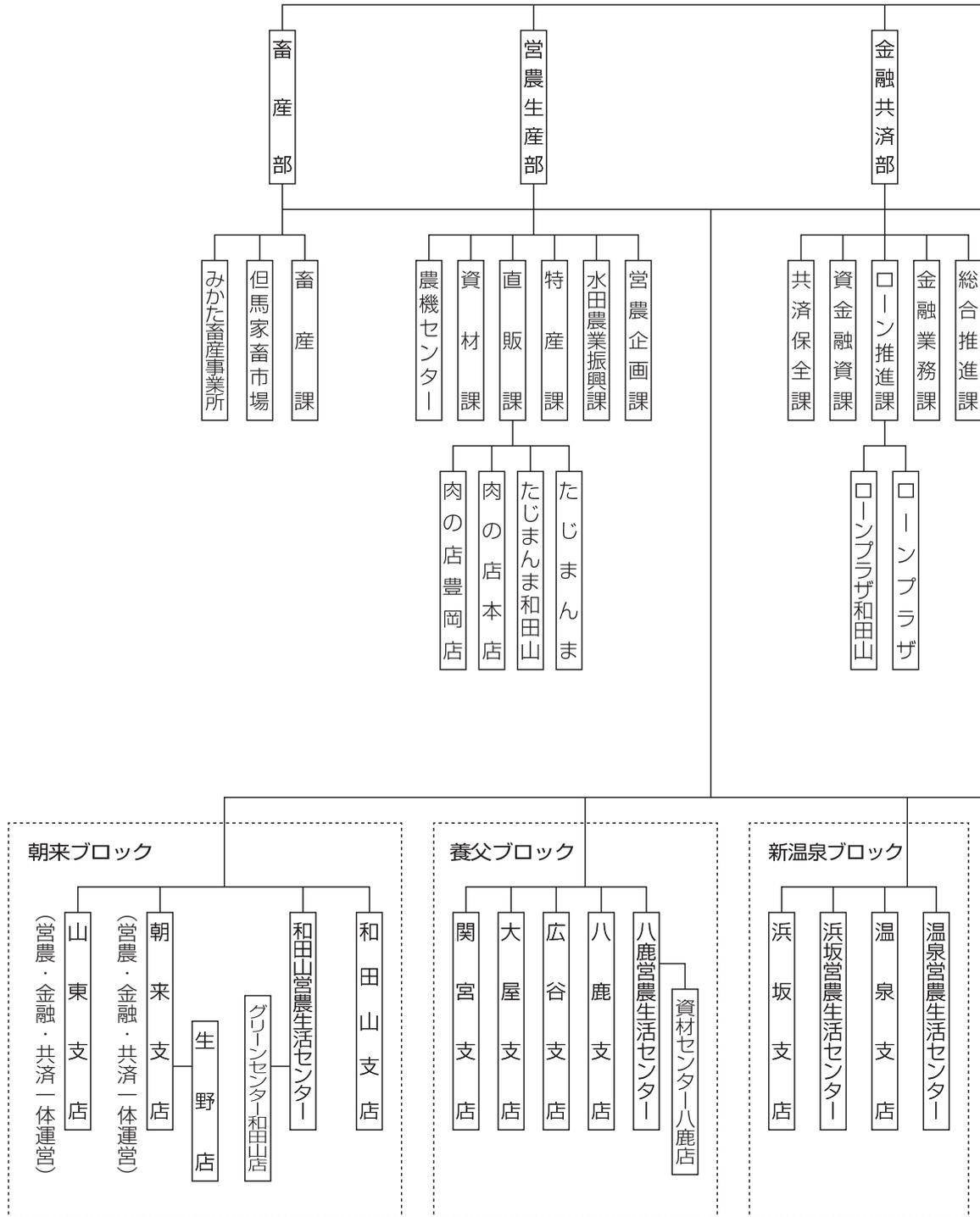
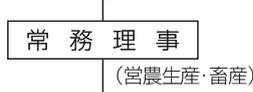
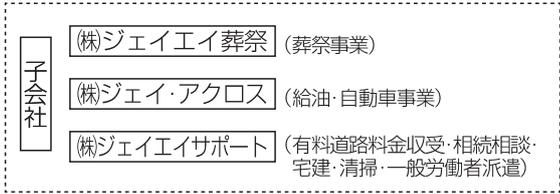
(山東地区)

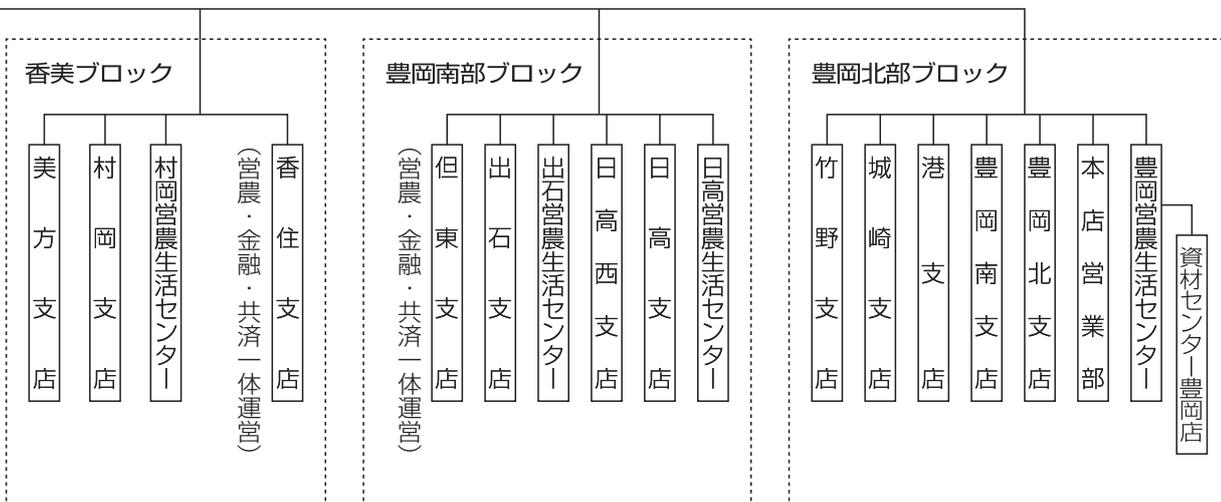
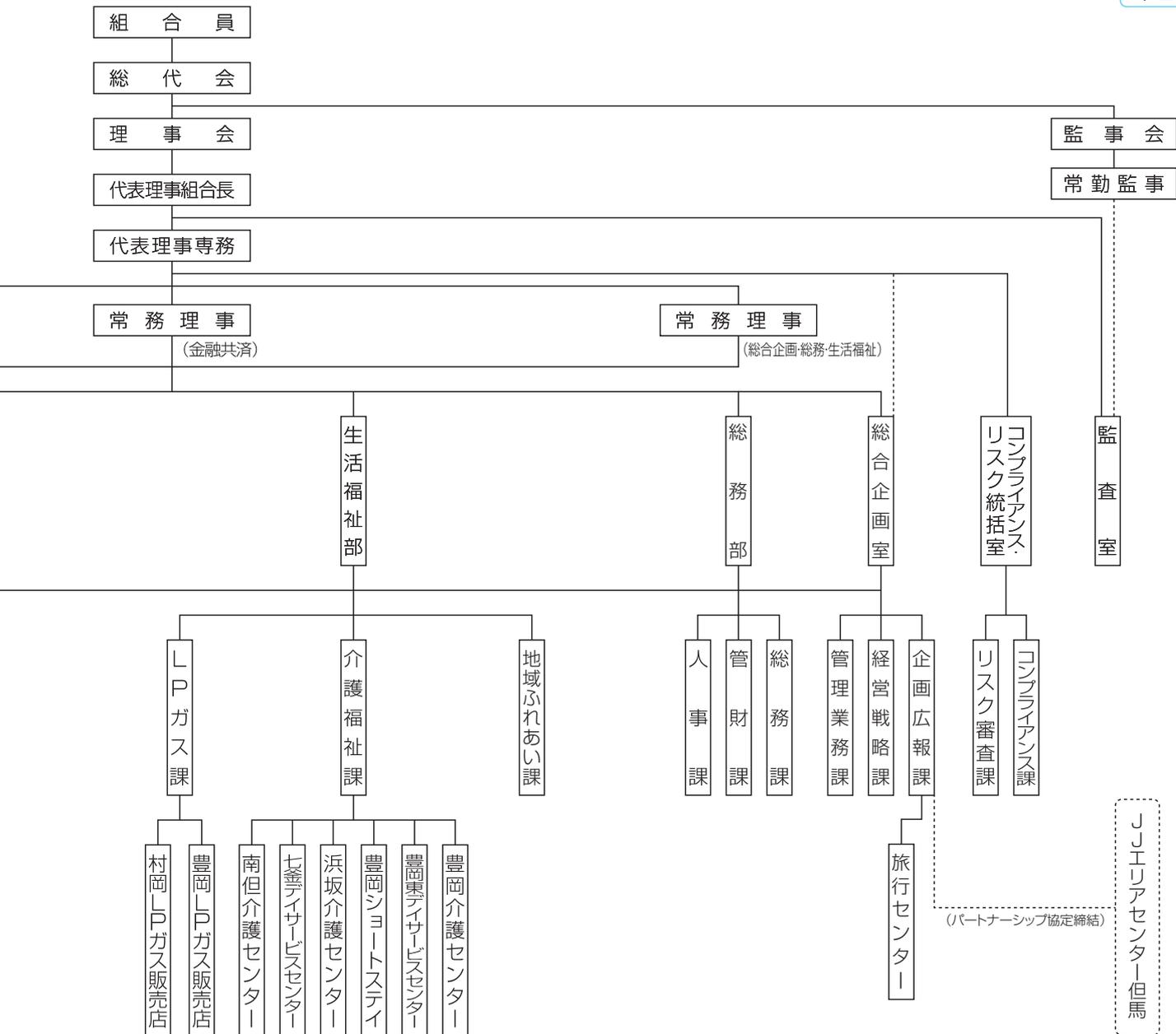
23名

奥藤	康正
太田	常夫
松本	洋一
藤井	幸三
波多野	京子
山下	正幸
三宅	哲次
湯口	守
小山	洋子
奥	尚
石原	忍
西	信正
古田	正弘
西山	新一
金田	和夫
小田	彰子
梶原	俊夫
木村	里美
山本	耕三

○ JAたじま機構図

令和6年4月1日～







A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.



J A 綱 領

わたしたち J A のめざすもの

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs（持続可能な開発目標）とは、自然環境を守りながら世界のすべての人々が人間らしい暮らしを続けていくことができるよう、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに世界で達成することを目指した国際目標です。貧困や格差の解消、自然環境の維持など、17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成されます。